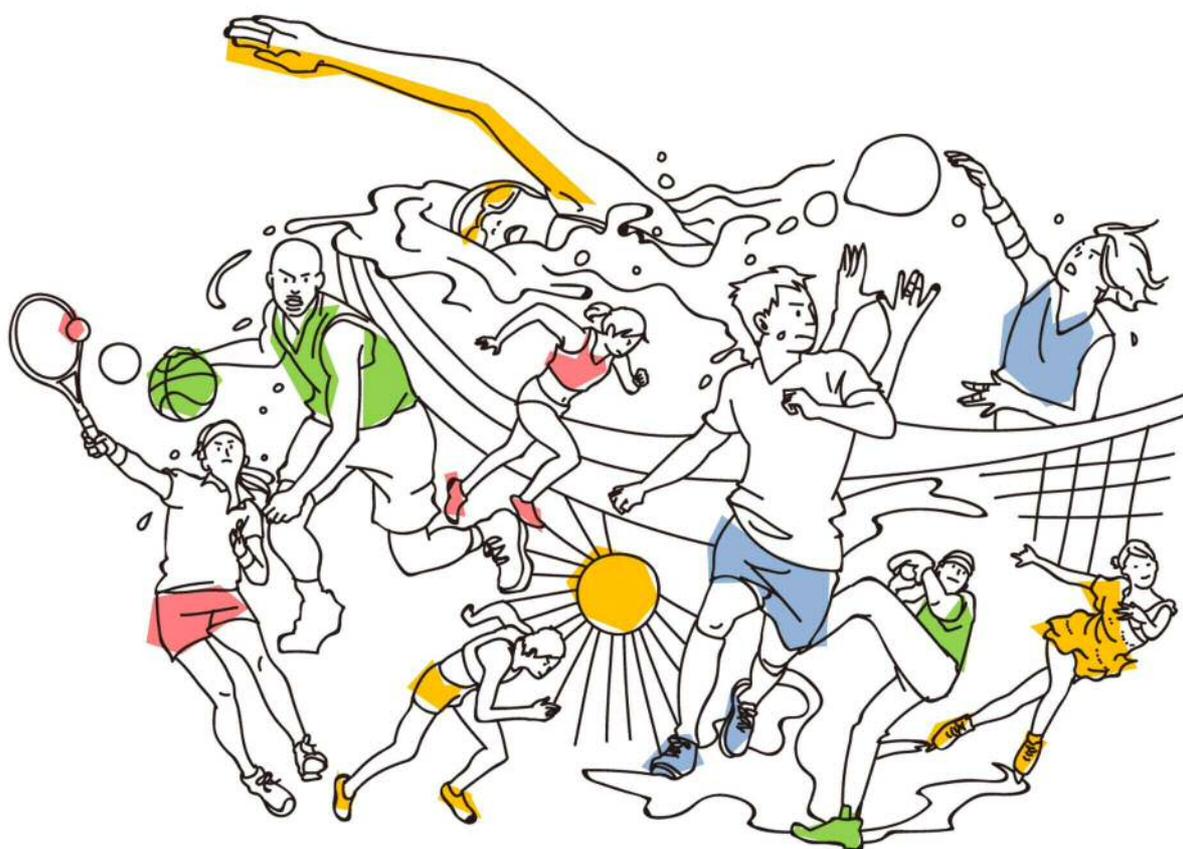


高畠町スポーツ推進計画

「町民一人1スポーツ・生涯スポーツの定着」を目指して



令和5年3月

高畠町教育委員会

<目 次>

第 1 章 計画の基本事項

- 1 スポーツの定義 P 1
- 2 計画策定の背景と趣旨 P 1
- 3 計画の位置づけ P 2
- 4 計画の期間 P 2

第 2 章 スポーツをとりまく現状と課題

- 1 高畠町スポーツ推進計画（H 2 9 策定）の進捗状況と成果 . . P 3～6
- 2 現状の分析と課題について P 7～9
- 3 基本目標の設定について P 10

第 3 章 基本目標・施策目標

基本目標 1 スポーツでかがやくひとづくり P 11

- 1-1 ライフステージに合わせたスポーツ実施機会の充実 . . . P 12～15
- 1-2 スポーツ競技力・運動習慣のレベルアップ P 16
- 1-3 健康のためのスポーツの推進 P 17～19

基本目標 2 スポーツであふれるまちづくり P 20

- 2-1 スポーツイベントの開催による交流の拡大 P 21～22
- 2-2 スポーツ活動をささえる地域づくり P 23～24
- 2-3 スポーツ施設の整備 P 25～27

第 4 章 計画の推進・進捗管理

- 1 計画の推進体制 P 28～29
- 2 計画の進捗管理 P 30

第 5 章 附属資料

- 1 高畠町運動・スポーツアンケート集計結果 P 31～46
- 2 参考文献 P 47
- 3 高畠町スポーツ推進計画の策定経過及び策定委員会名簿 . . . P 47～48

高畠町スポーツ推進計画の基本的な考え

1 スポーツの定義

本計画における「スポーツ」とは、ルールに即して他者と競い合ったり記録に挑戦する競技スポーツに加え、心身の健全な発達や健康増進、精神的な充足感の獲得等を目的とした身体活動（散歩・ダンス・健康体操・ハイキング・サイクリング・野外活動・レクリエーションスポーツ活動等）を指します。また、競技場などへ行きスポーツを観戦する「見るスポーツ」、スポーツボランティア活動等の「支えるスポーツ」も含むものとしします。

2 計画策定の背景と趣旨

「スポーツ基本法」において、スポーツは、世界共通の人類の文化であり、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことはすべての人々の権利であるとされ、青少年の健全育成や地域社会の再生、心身の健康の保持増進、社会・経済の活力の創造、我が国の国際地位の向上等国民生活において多面にわたる役割を担うとされています。国は令和4年3月25日にスポーツ基本法の理念、施策を示す「第3期スポーツ基本計画」（計画期間 R4～R8）が、「つくる／はぐくむ」、「あつまり、ともに、つながる」、「誰もがアクセスできる」の3つの視点を設定し、策定されました。

山形県では、「山形の未来を拓くスポーツ文化の創造」を目指す「山形県スポーツ推進計画－スポーツやまがたドリームプラン－『後期改定計画』」（計画期間 H30 から10年間）を平成30年6月に策定しました。

高畠町では、平成16年3月に「豊かなスポーツ文化の創造『町民一人1スポーツ・生涯スポーツの定着』」を基本目標として、「高畠町スポーツ推進計画」を策定しました。その後、平成29年に「高畠町スポーツ推進計画」－「町民一人1スポーツ・生涯スポーツの定着」を目指して－として策定しました。

この度は、国の「第3期スポーツ基本計画」やスポーツを取り巻く状況の変化を踏まえ、これまでの取り組みを継承しつつ、スポーツ推進の新たな指針として「高畠町スポーツ推進計画」（以下「本計画」という。）を策定するものであります。

第1章 計画の基本事項

3 計画の位置づけ

本計画は、スポーツ基本法第10条の規定に基づき、国の「第3期スポーツ基本計画」を参酌し、町の実情に即したスポーツの推進に関する計画として策定するものです。

また、上位計画である「第6次高畠町総合計画」、「高畠町教育振興基本計画」を推進する個別計画として、町が策定する各個別計画、中でも「高畠町健康増進計画」、「第2期高畠町食育・地産地消推進計画」について、連携・整合性を図りながら策定します。

4 計画の期間

令和5年4月1日から令和15年3月31日までの10年間とします。ただし、計画策定5年後に分析と評価をし、計画の見直しを図ることとします。

2023 R 5	2024 R 6	2025 R 7	2026 R 8	2027 R 9	2028 R 10	2029 R 11	2030 R 12	2031 R 13	2032 R 14
基本目標・施策目標									
具体的な施策（進捗管理）					後期改定計画				

第2章 スポーツをとりまく現状と課題

1 高畠町スポーツ推進計画（H29策定）の進捗状況と成果

町では、幼児から高齢者までスポーツを通じた体づくり、運動の習慣化を図るとともに、年齢性別を問わずおこなえるスポーツイベントへの参加を推進し、「町民一人1スポーツ・生涯スポーツの定着」を目指して、スポーツの振興を図ってきました。

この計画期間内においては、スポーツ振興をめぐる組織体制の強化として、新たな連携組織の発足、スポーツ協会の体制強化、スポーツ推進委員の活動の充実が図られました。生涯スポーツや健康づくりの面ではスポーツ教室の開催や介護予防事業の活性化が取り組まれました。スポーツ施設の面では、指定管理者制度の導入によって多様な自主事業や柔軟な施設運営がおこなわれるようになりました。スポーツイベントとしては、たかはたぶどうマラソン／高畠ロードレースや全日本競歩高畠大会などを引き続き開催しました。なかでも、全日本競歩高畠大会出場者から、東京2020オリンピック日本代表が選ばれ、競歩競技自体が全国的に注目されるまでになりました。

この期間の中で掲げた目標は、町スポーツの多岐の分野にわたり成果を上げてきました。（資料1参照）

≪資料1≫ 【高畠町スポーツ推進計画の進捗状況】

■第1節 体育・スポーツの活動の充実と支える組織体制の強化

1 地域におけるスポーツイベントの充実

項目	実績
(1) 地区体育事業の充実	各地区において積極的な事業を実施 レクリエーションスポーツの実施、ウォーキングイベント、軽スポーツ体験会、体カテスト等
(2) 地域団体が連携して青少年の育成	各地区において積極的な事業を実施 軽スポーツ大会、ウォークラリー大会
(3) スポーツ推進委員がイベントを主導	レクリエーションを取り入れた体カチェック（レク式体カテスト）、※ <u>ニュースポーツ</u> 体験会を実施

※ニュースポーツ…軽スポーツ、レクリエーションスポーツ等、20世紀後半にかけて考案・紹介されたスポーツ。

第2章 スポーツをとりまく現状と課題

2 ※総合型地域スポーツクラブの整備

※総合型地域スポーツクラブ…身近な地域で多世代にわたりスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブ

項 目	実 績
(1) 総合型地域スポーツクラブの立ち上げ	※ 包括連携協定 の締結と※ TSKA の設立
(2) 創設・育成の支援	包括連携協定の締結とTSKAによる事業の展開
(3) 地区での活動を展開	TSKAと各地区が連携し積極的な事業を展開
(4) 幅広い参加対象に 魅力のあるクラブ	介護予防事業、スポーツ習慣化促進事業、 Vキッズ事業、高齢者レク支援事業等

※**包括連携協定**…【スポーツによる元気なたかはたづくり包括連携協定】

株式会社吾妻スポーツ、株式会社ヤマコー、各地区公民館、高畠町社会福祉協議会、高畠町スポーツ推進委員協議会、高畠町健康体づくり推進協議会、一般社団法人高畠町スポーツ協会の7団体が連携し、スポーツを通じて高畠町全体に元気を創出していくことを目的として締結された協定。

※**TSKA**…【高畠スポーツによる健康・体づくりアソシエーション】

包括連携協定により生じる庶務をつかさどる組織。スポーツ協会に事務局を置き、各団体が連携を取りやすい環境を醸成する。

3 スポーツ少年団の育成

項 目	実 績
(1) スポーツ少年団活動の奨励と活動の支援	スポーツ協会による運営支援と研修会の開催
(2) スポーツ少年団指導者の育成	地区、県スポ少関係機関からの研修会の紹介 指導者資格取得のための助成金制度を設置

4 スポーツ推進体制の強化

項 目	実 績
(1) スポーツ協会の組織体制の活性化と運営の支援	体育施設の指定管理者制度導入により体制と資源を確保 スポーツ協会運営補助金の有効活用
(2) スポーツ推進委員協議会の充実	委員の資質向上のための内部研修の実施 ニュースポーツ体験会や研修会等の自主事業を実施
(3) スポーツ振興基金の活用による組織育成	スポーツ振興基金を有効活用

第2章 スポーツをとりまく現状と課題

■ 第2節 生涯スポーツ活動の推進と健康づくり

1 だれもが参加できるスポーツ教室の開催

項目	実績
(1) 多彩なスポーツ教室の開催	大人のスポーツ教室、スポーツ後援会
(2) スポーツ団体との連携	TSKAによる連携・調整の実施

2 スポーツサークルの育成

項目	実績
(1) スポーツサークルの登録と支援	未実施
(2) サークル交流の推進と情報発信	未実施

3 健康づくり、介護予防分野との連携事業の展開

項目	実績
(1) 行政とスポーツ団体の連携による事業展開	TSKAの連携による事業展開
(2) 健康づくりサークルや地域団体との連携	介護予防事業、Vキッズ事業、スポーツ習慣化促進事業、高齢者レク支援事業等の実施

■ 第3節 スポーツ施設の有効活用と整備の推進

1 体育施設の指定管理

項目	実績
(1) 公共体育施設の管理運営の指定管理	指定管理者制度導入により利用者の利便性向上
(2) スポーツ事業委託体制の整備	スポーツ振興事業の円滑な運営

2 民間活力による施設の有効活用

項目	実績
(1) 体育施設の有効活用の促進	(株)ヤマコーによるカルチャー教室の実施

3 学校体育施設の有効活用

項目	実績
(1) 開放事業の充実	町内小中学校で実施（P27資料8参照）

第2章 スポーツをとりまく現状と課題

4 スポーツ施設の整備

項目	実績
(1) 町体育施設の整備	段階的に改修を実施
(2) 屋外スポーツ施設の整備	ウォーキングコース・キャンプ場等の整備

■ 第4節 幅広く町民参加できるスポーツの構築と支援体制

1 町民が参加できる競技会の充実と支援体制

項目	実績
(1) 町民に開かれた大会の開催	①たかはたぶどうマラソン（高島ロードレース） ②全日本競歩高島大会 ③ビーチボール大会 ④町総合体育大会…レクスポーツ大会実施検討中 ⑤その他大会…カローリング交流大会の開催
(2) 競技会の支援体制の充実	上記大会について継続して実施

2 スポーツイベントの充実とアスリート支援

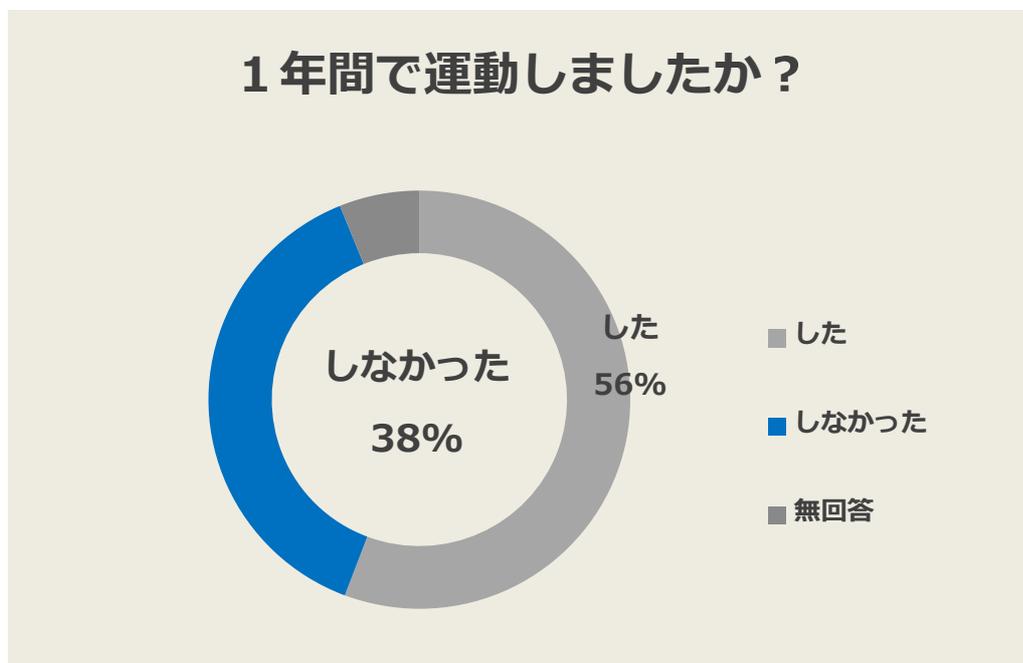
項目	実績
(1) スポーツ情報の発信	町・スポーツ協会HP、町FBで情報発信
(2) プロ、トップアスリートの活用	高島ロードでのゲストランナー招待や陸上教室実施
(3) アスリート育成と支援	全国大会等出場者への補助金制度

2 現状の分析と課題

高畠町スポーツ推進計画（平成29年策定）に基づき、高畠町ではスポーツ振興に取り組み、多くの成果を上げる一方、社会環境や地域社会の変化、更には新型コロナウイルス感染症の拡大により、必ずしも所期の目標すべてが達成できたとは言えない現状にあります。

本計画策定にあたり実施した高畠町運動・スポーツアンケート調査（附属資料 P34 に記載）によれば、回答者の4割弱が1年間で運動をしなかった、と回答しています。これは国の第2期スポーツ計画の設定目標を下回り、全国と比較しても低い水準です。それは、国民健康保険加入者の特定健診におけるメタボリック症候群の該当者割合に関して高畠町が県内でも高いこと、児童生徒の肥満傾向が顕著になっていることなど関係を持っていると考えられます。このような傾向は、新型コロナウイルス感染症拡大により拍車を掛けられています。（資料2、3、4、5、6参照）

「資料2」 1年間で運動した人の割合

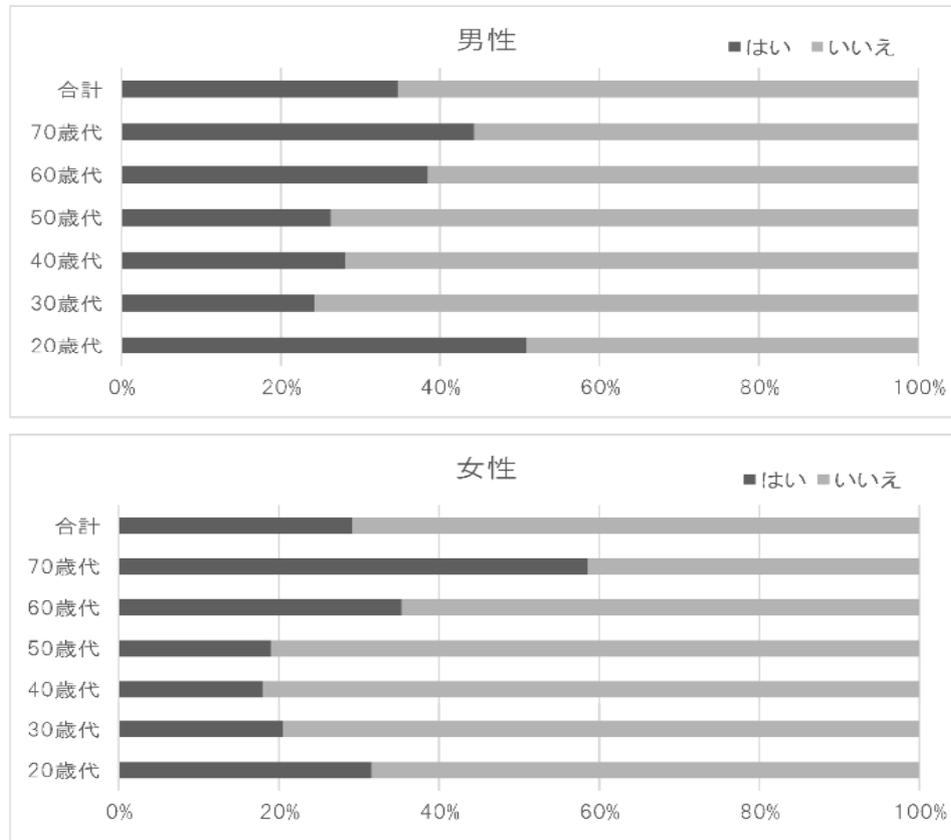


高畠町運動・スポーツアンケート結果より分析

第2章 スポーツをとりまく現状と課題

「資料3」 ※運動習慣者の割合

※運動習慣者…1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施している者



高島町健康増進アンケートより（令和元年度調査）

「資料4」 ※適正体重を維持する人の割合（国民健康保険特定健康診査）

※適正体重…BMI = 体重 (kg) ÷ 身長(m)² BMIが18.5以上25未満

適正体重を維持する人の割合	H27	H31
成人男性	68.8%	66.7%
成人女性	73.5%	74.1%

高島町健康増進計画より

「資料5」 子どもの肥満傾向

項目	町 (H30)	町 (R3)	全国 (R2)
小学生男子	2.3%	4.6%	2.6%
小学生女子	1.3%	4.5%	1.5%
中学生男子	3.3%	0.9%	1.3%
中学生女子	0.9%	0.7%	0.9%

(H30並びにR3東置賜地区児童生徒の発育状況並びに疾病異常の実態より)

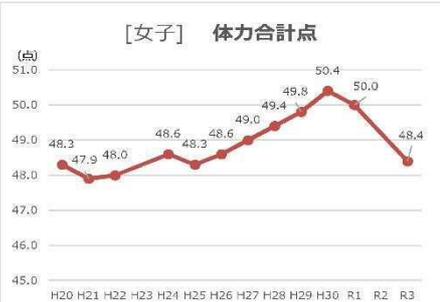
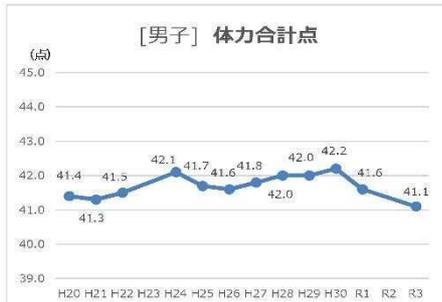
第2章 スポーツをとりまく現状と課題

「資料6」 小中学生の体力の推移

(小学生)



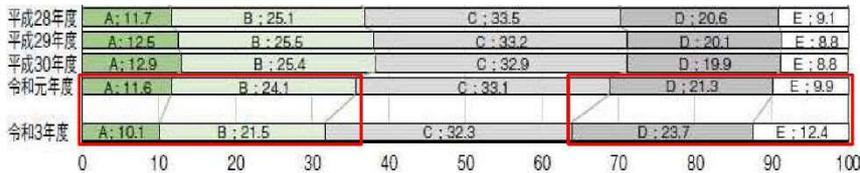
(中学生)



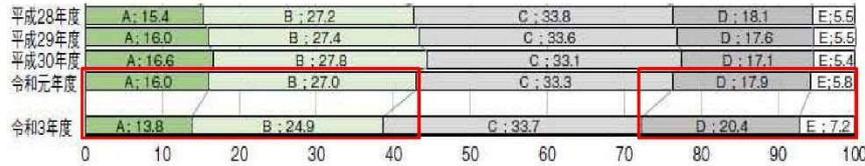
体力合計点の評価の状況

(小学生)

● 男子



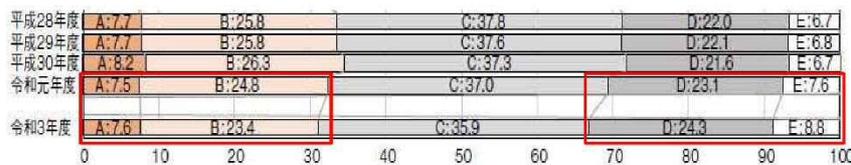
● 女子



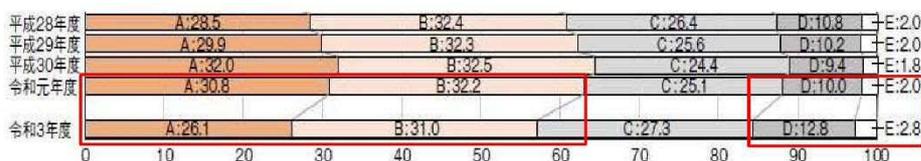
小・中学生男女ともに、
A・Bの割合が減少し、
D・Eの割合が増加。

(中学生)

● 男子



● 女子



【評価の基準】

A B C D E
優 ⇔ 劣

3 基本目標の設定について

こうした現状を受けて、スポーツに触れる機会、取り組む機会を創出し、競技スポーツはもとより、心身の健康づくりとしてのスポーツの振興、その推進が、課題として浮かび上がってきました。

前記の課題解決に向けて、本計画では、人それぞれが、人それぞれの関わり方で「スポーツでかがやくひと」となれるような環境を整備することを目指し、「**基本目標 1 スポーツでかがやくひとづくり**」を設定しました。

基本目標 1 が町民一人ひとりの「かがやき」を目指すものとするならば、基本目標 2 は、一人ひとりのかがやきを地域におけるソフト・ハード面で支える「まちづくり」が課題であると認識し、「**基本目標 2 スポーツがあふれるまちづくり**」を設定しました。

さらに、スポーツが果たす多面的な役割、使命をより深く、またわかりやすく示すために、持続可能な社会を目指す SDG s の理念を活かすこと、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を食い止め、スポーツが持つ多様な価値で全ての人が満足感を得られるよう、目標を設定しました。



基本目標 1 スポーツでかがやくひとづくり

1人ひとりがそれぞれの方法(する みる ささえる)
でスポーツに関わることで

【豊かな人間性の形成】
【健康増進】 を目指す

1 ライフステージに合わせたスポーツ実施機会の充実

- | | |
|---------|------------------------|
| ① 幼児期 | 運動遊びの推進と普及活動 |
| ② 青少年期 | レクスポーツと競技スポーツの推進 |
| ③ 青・壮年期 | 子育て世代・働き盛り世代のスポーツ実施率向上 |
| ④ 高齢期 | 軽運動の推進と生きがいづくり |

2 スポーツ競技力・運動習慣のレベルアップ

- ①指導者の育成 ②スポーツ少年団活動・部活動の充実

3 健康のためのスポーツの推進

- ①健康寿命の延伸に繋がるスポーツの推進 ②食育の推進

1-1 ライフステージに合わせたスポーツ実施機会の充実

① 幼児期

幼児期に身体を動かして遊ぶ機会というものはその後の児童期、青年期へ向けてスポーツに親しむ資質や能力を育成するのに重要な動きとされており、対人関係のコミュニケーション能力の発達にも大きく影響していると言われています。

また、幼児期における運動習慣を身につけさせるためには現状把握や、運動実施に係る保護者・保育者に対する普及活動が必要とされています。

[今後の施策目標]

- ・遊びを通して、生涯にわたって運動を継続し、健やかな心身で生活を営むことができる資質や能力を育てる環境を整える
- ・幼児期の運動に関する情報の収集と発信体制を整える

[具体的な施策]

- ・幼児期における運動の実施状況や体力水準等の現状を把握する為の調査を関係機関と協力して実施
- ・町福祉こども課等との連携による保育・幼児施設や保護者へ向けた運動習慣形成に関する情報提供（年2回）
- ・家族、親子で気軽に取り組めるような運動の推進（親子体操の紹介等）
- ・幼児期から受け入れが可能なスポーツ組織、団体（スポーツ少年団）等の紹介、情報提供の実施
- ・※ **ACP（アクティブ・チャイルド・プログラム）** の普及を図るための情報提供

※ACP…【アクティブ・チャイルド・プログラム】

JSPO（日本スポーツ協会）が開発した子どもが発達段階に応じて身につけておくことが望ましい動きを習得する運動プログラムのこと。（第3期スポーツ基本計画）

② 青少年期

青少年期（就学期）では、幼児期の運動遊びの推進から発展して※レクリエーションスポーツと勝ち負けにこだわった競技スポーツの推進を図ります。

レクリエーションスポーツでは勝ち負けよりも、身体を動かして楽しむ事を習慣化し、生涯を通してスポーツに親しむきっかけをつくります。競技スポーツではスポーツが得意な青少年が、トップアスリートへ成長するきっかけをつくります。

※レクリエーションスポーツ…いつでも、どこでも、誰とでも、気軽に楽しめることができ、年齢に関係なく続けられるスポーツのこと。

[今後の施策目標]

- ・スポーツ団体の活動を支援し、青少年期におけるスポーツへの関心を高めていく
- ・多様なスポーツができる場の提供できることを目指す
- ・保護者等と一緒にできるスポーツの機会をつくり、運動をする習慣をつける
- ・学校での体育の授業、スポーツ少年団、部活動を通して、運動・スポーツに親しむことに喜びと感動を得られる環境をつくる
- ・運動部活動の地域移行に関する検討会議で提言された改革の方向性・方策に基づき運動部活動改革を支援する体制を構築する
- ・全国大会出場者への支援

[具体的施策]

- ・自分に合ったスポーツを見つけ出すための場や情報を提供（年2回程度）
- ・身体を動かす習慣づけを促す情報提供、スポーツイベントの開催
- ・運動する時間・機会をつくり、好きなスポーツや得意とするスポーツを見つけ出せるよう多種多様なスポーツを紹介する事業を実施
- ・全国大会出場者へ支援

③ 青・壮年期

ここで言う青・壮年期とは、就業期を迎える18歳以上64歳以下の期間とします。青・壮年期となっても引き続き競技スポーツを続ける人・趣味としてのスポーツを続ける人、違うスポーツを始める人、スポーツから離れてしまう人と様々で、また、年齢を重ねるごとに仕事や家庭の事情でスポーツから離れる人も多くなってきます。以上のことから、特にスポーツと疎遠になってしまいがちな人に向けてスポーツに関わっていくきっかけづくりを図っていきます。

[今後の施策目標]

- ・週1回以上のスポーツ実施率を70%になること、年1回以上のスポーツ実施率が100%に近づくことを目指す
- ・1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上実施し、1年以上継続している運動習慣者の割合の増加を目指す

[具体的施策]

- ・誰もが気軽に参加できるスポーツイベントの開催
- ・楽しい、面白いと思えるような体験会を開催
- ・スポーツへのかかわり（する・みる・ささえる）をもち続けるための情報の発信（年4回以上）



④ 高齢期

高齢期においては、豊かな精神を保つための手段として、生きがいづくりのため※**軽運動**も重要です。健康づくりとともに、軽運動をすることにより多くの人や世代との交流を図る環境づくりが必要とされています。

※**軽運動**…30分程度の軽い運動

[今後の施策目標]

- ・ 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上実施し、1年以上継続している運動習慣者の割合の増加を目指す

[具体的施策]

- ・ 軽運動効果についての理解を深め、自分にあった運動を見つける取り組みを支援
- ・ 町の軽運動活動やスポーツイベント、レクリエーションスポーツに参加しやすい環境の整備
- ・ 健康のためのスポーツイベントの開催



1-2 スポーツ競技力・運動習慣のレベルアップ

① 指導者の育成

スポーツにおいて試合や競技へ挑戦する選手を支える指導者の育成は、選手の競技力向上に欠かせないものとなっています。より質の高い指導のため、指導者を育成するための講習や資格取得に向けた取り組みが必要となります。

[今後の施策目標]

- ・ 認定資格取得制度の普及拡大
- ・ 指導者の資質向上に向けた資格取得の推進
- ・ 科学的な知見やスポーツ医学に基づく育成の推進

[具体的施策]

- ・ 認定資格取得助成金制度の利用者数を毎年2人以上にする
- ・ 指導者向けの専門研修の実施（年2回）

② スポーツ少年団活動、部活動の充実

少子化が進むにつれ、スポーツ少年団の団員数の減少、中学校での運動部への入部者数の減少が進み今まで通りの活動ができなくなってきました。スポーツの楽しさや喜びに触れる機会を提供し積極的にスポーツに関わる青少年が増えるような取り組みが必要となります。

[今後の施策目標]

- ・ スポーツ少年団への加入率をあげる（小学生は31%→36%、中高生の継続加入）
- ・ スポーツ少年団への運営支援の充実を図る
- ・ 町の実情に合った運動部活動への支援体制の確立

[具体的施策]

- ・ 加入者数増加に向けた体験入団の実施（随時）
- ・ スポーツ少年団の情報提供と団体同士の交流活動の支援
- ・ 指導者向けの実技研修を定期開催（年1回以上）

1-3 健康のためのスポーツの推進

① ※健康寿命の延伸に繋がるスポーツの推進

※健康寿命…健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間

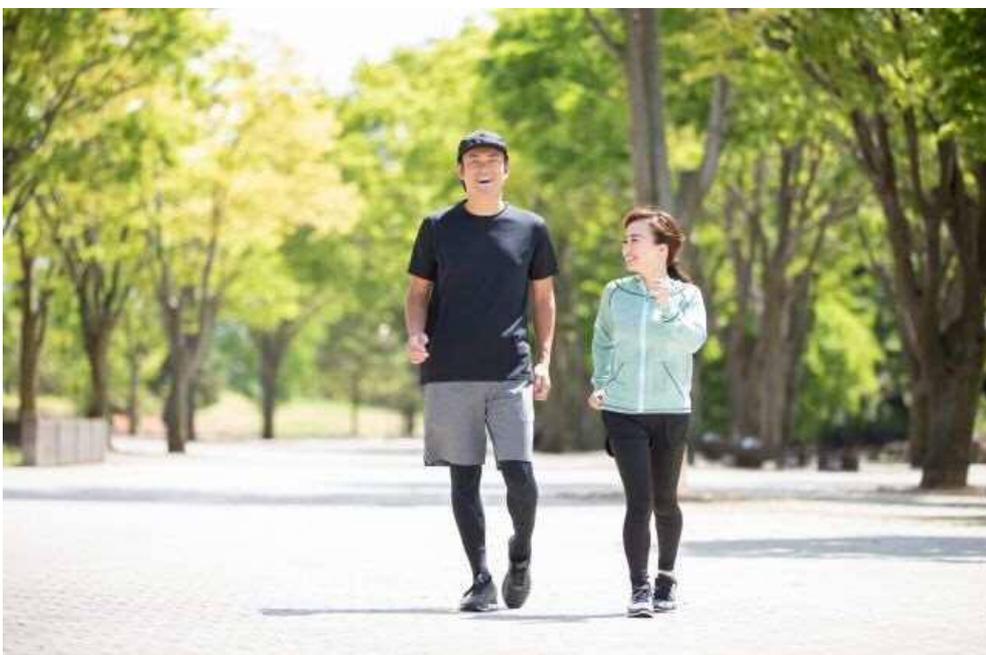
スポーツをすることが、喜びと健康をもたらすことを、継続していくことが生きがいとなることを実感できるよう導いていく必要があります。また、スポーツを実践するだけでなく、スポーツを通して人や地域との関係を保つことが潤いある暮らしにつながることを普及していく必要があります。健康寿命の延伸には若い時から取り組むことが重要であると言われております。

[今後の施策目標]

- ・ 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上実施し、1年以上継続している運動習慣者の割合の増加を目指す
- ・ 健康づくりのためのスポーツの実施に積極的に取り組む企業等の増加により、働く世代・子育て世代のスポーツを通じた健康増進を図る
- ・ 生活習慣を見直し、健康寿命を延ばす

[具体的施策]

- ・ 町内や地区単位でおこなわれている健康運動講座やスポーツ施設についての情報提供
- ・ イベント等の開催などにより、誰もが気軽に参加できるウォーキングの推進



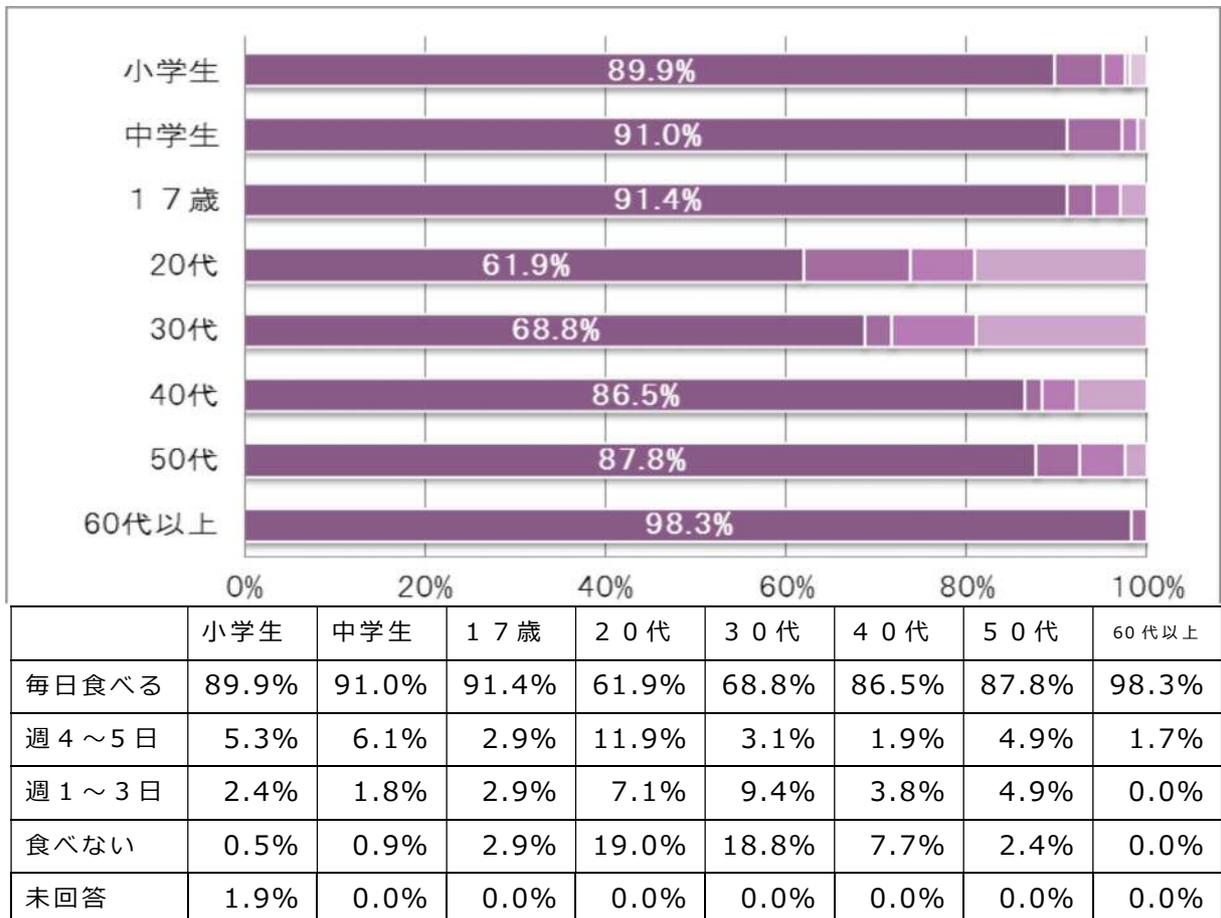
② 食育の推進

健康づくりには、スポーツと共に、ライフステージにあった「※食育」が欠かせません。健康づくりやスポーツに取り組む人びと、それぞれに相応しい方法で、食とスポーツによる健康づくりを推進していきます。

1日3度の食事を決まった時間にとることは、体のリズムを整えると共に心の安定につながり、パフォーマンスが向上します。特に、朝食を食べることで体温と血糖値が上がり、1日のスイッチが入ります。朝食欠食率（町食育・地産地消推進計画実態調査）をみると、20代と30代でそれぞれ26.1%・28.2%となっており、若い世代の4人に1人が恒常的に朝食を欠食している状況です。また、整った食生活の実現には栄養バランスへの心配りが不可欠であり、幼少期から継続して実践することで将来の元気な体と健康づくりに繋がります。（資料7参照）

※食育…「食育は生きる上での基本であって、知育、徳育、体育の基礎となるべきもの」として位置づけられている

「資料7」 実態調査アンケート「朝ごはんを食べていますか」



第2期 高島町食育・地産地消推進計画より

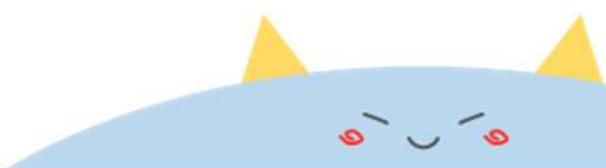
[今後の施策目標]

- ・町の豊かな農産物を活用した学校給食を通して、食育の取り組みにスポーツ分野から参加する
- ・スポーツ指導者やスポーツ関係者に、食を含めた健康づくりへの意識を向上させる
- ・健康な生活を送りスポーツを活発に行うために、子どもや保護者などへの食育の普及啓発をおこなう
- ・乳幼児から高齢者までライフステージに合わせた望ましい食習慣を身に付けることができるよう支援する

[具体的施策]

- ・スポーツ指導者やアスリートの研修において、「食」に関する研修項目の設置
- ・スポーツ分野からも町内における「食育」の取り組みに参画できるように、関係者や関係機関のスキルアップを図るための講習会の開催（年1回開催）
- ・スポーツをする上での食に関する自らバランスのとれた食事をとれるスキルを身につけることが出来る研修（実習）を開催
- ・食生活改善推進連絡協議会等の食育関連団体と連携・協力しながら、子どもや保護者を対象とした講習会を実施する
- ・それぞれのライフステージに合わせた食と健康づくりをテーマとした講習会や栄養相談を実施する





基本目標2 スポーツがあふれるまちづくり

ソフト面・ハード面の充実でスポーツに
取り組みやすい環境をつくることで

【スポーツによるまちの活性化】 を目指す

1 スポーツイベントの開催による交流の拡大

- ①世代・性別・地域・分野の垣根を越えた交流の拡大
- ②レベルの高い競技会の開催
- ③多種多様な方法でのスポーツイベントの開催

ソフト

2 スポーツ活動をささえる地域づくり

- ①スポーツ団体の強化、連携、支援
- ②スポーツ推進委員協議会の発展と支援
- ③スポーツボランティアの推進

3 スポーツ施設の整備

- ①スポーツ施設の管理と利用促進
- ②ニーズに沿った施設の整備 ③学校体育施設の活用

ハード

2-1 スポーツイベントの開催による交流の拡大

① 世代・性別・地域・分野の垣根を越えた交流の拡大

スポーツ×健康、スポーツ×観光、スポーツ×etc.…スポーツには、世代・地域・分野に縛られず、人を巻き込むパワーが秘められています。そのパワーの可能性を探り、様々な垣根を越えた交流拡大を図っていくことができます。

[今後の施策目標]

- ・ 町内外から多様な参加者を得て様々な交流を図る
- ・ スポーツイベントにスポーツ×他分野の付加価値を付け、参加者の満足度向上を図る
- ・ スポーツイベント参加者数 50%アップを目指す

[具体的施策]

- ・ 誰もが参加しやすい体験教室の開催や情報提供
- ・ 高畠ロードレース/たかはたぶどうマラソンの継続開催
- ・ 全日本競歩高畠大会の継続開催

② レベルの高い競技会の開催

町では、9月に高畠ロードレース、10月に全日本競歩大会を継続して開催しており、町民に溶け込んだ大会となっています。どちらの大会も、県内外のトップクラスの選手が参加しており、競歩大会においては世界大会でもメダル獲得する選手も参加しています。

[今後の施策目標]

- ・ 町内小中学生の参加者増加
- ・ トップ選手の参加誘致
- ・ 大会の安全な開催

〔具体的施策〕

- ・ 高畠ロードレース/たかはたぶどうマラソンの実施種目の検討と継続開催
- ・ 全日本競歩高畠大会の実施種目の検討と継続開催
- ・ 競技コースの整備

③ 多種多様な方法でのスポーツイベントの開催

第1章 第1節「スポーツの定義」のとおり、スポーツへの関わり方は人それぞれで十人十色です。自分にあったスポーツの関わり方を見つけ出し、誰もが気軽に「プレイヤー」になれるよう、多種多様な方法でスポーツに関わる機会を創出します。

〔今後の施策目標〕

- ・ 世代や性別、障がいの有無を問わないニュースポーツ等の普及
- ・ 町民のスポーツイベント参加率の向上

〔具体的施策〕

- ・ オンラインスポーツイベント情報の提供
- ・ ニュースポーツの体験会や大会の開催



2-2 スポーツ活動をささえる地域づくり

① スポーツ団体の強化、連携、支援

スポーツ協会、スポーツ推進委員協議会、スポーツ少年団など、それぞれのスポーツ団体の強化を図るとともに、連携による質の高い活動が可能となるよう支援していく必要があります。

[今後の施策目標]

- ・各種スポーツ団体の活性化及びスポーツイベントへの協力
- ・連携協定（TSKA）に基づくスポーツイベントの開催

[具体的施策]

- ・スポーツ団体運営支援の実施
- ・協力体制でおこなうスポーツイベントの開催
- ・大会運営協力・共催事業の開催（ロードレース、競歩大会）
- ・スポーツ指導協力体制の整備

② スポーツ推進委員協議会の発展と支援

スポーツ推進委員の活動内容は、スポーツの指導や各地区スポーツイベントの企画運営、スポーツイベントへの協力等多岐にわたっています。町のスポーツ推進において重要な役割を担うスポーツ推進委員協議会の発展と支援が必要とされます。

[今後の施策目標]

- ・スポーツ推進委員のスキルアップを図る
- ・スポーツ推進委員の認知度を向上する
- ・スポーツ推進委員の活躍により各地区のスポーツイベントを活性化する

[具体的施策]

- ・スポーツ推進委員の研修会の開催（年3回）
- ・町広報や Facebook 等の媒体を活用した広報の実施（年4回）
- ・スポーツ推進委員が主導するスポーツイベントを各地区で開催

③ スポーツボランティアの推進

スポーツイベントはその大小に関わらず、多くのスポーツボランティアの活躍に支えられ成り立っています。町のスポーツイベントも同様です。

スポーツを「する」「みる」以外の立場から参画できる、スポーツボランティアには「幅広い年代の人々と交流できる」「考え方の幅が広がる」等の多くのメリットがあります。スポーツボランティアの推進は、多くのボランティアに支えられ成り立っている、町のスポーツの推進には必要不可欠です。

【今後の施策目標】

- ・スポーツボランティア参加者を増やす（だれもがスポーツに参画）
- ・スポーツボランティアの活躍の場を拡充

【具体的施策】

- ・スポーツボランティア活動の周知広報
- ・高畠ロードレース、全日本競歩大会等におけるスポーツボランティア募集の拡大



2-3 スポーツ施設の整備

① スポーツ施設の管理と利用促進

町のスポーツ施設は、だれもが安全に利用しやすく、より良い施設であるべきです。そのための適切な整備・管理が必要です。また、より多くの人に利用してもらえるよう、更なる利用促進を図ります。

【今後の施策目標】

- ・ スポーツ施設の適切な管理と改修
- ・ 誰もが利用しやすく、利用したくなるような設備の充実
- ・ スポーツ施設の利用率の向上

【具体的施策】

- ・ 指定管理者による定期点検、改修と修繕を適切に速やかに実施
- ・ スポーツ施設の使い方や活用方法等の情報発信
- ・ 既存施設の新たな活用方法の検討

町営第二体育館（旧高畠第三中学校体育館）令和3年4月20日供用開始



② ニーズに沿った施設の整備

近年、人気が高まってきた※アーバンスポーツや、世代・年代・性別にとらわれない、※障がい者スポーツ、をはじめとしたニュースポーツへの対応、また、バリアフリー等の※ユニバーサルデザインの導入など、スポーツ施設に求められるニーズが多様化しています。

※アーバンスポーツ…「エクストリームスポーツ」という速さや高さを極限まで追求し、華麗な離れ業を競い合うスポーツの一種で都市での開催が可能なもの

※障がい者スポーツ…身体・知的障がい等の障がいがある人がおこなうスポーツ

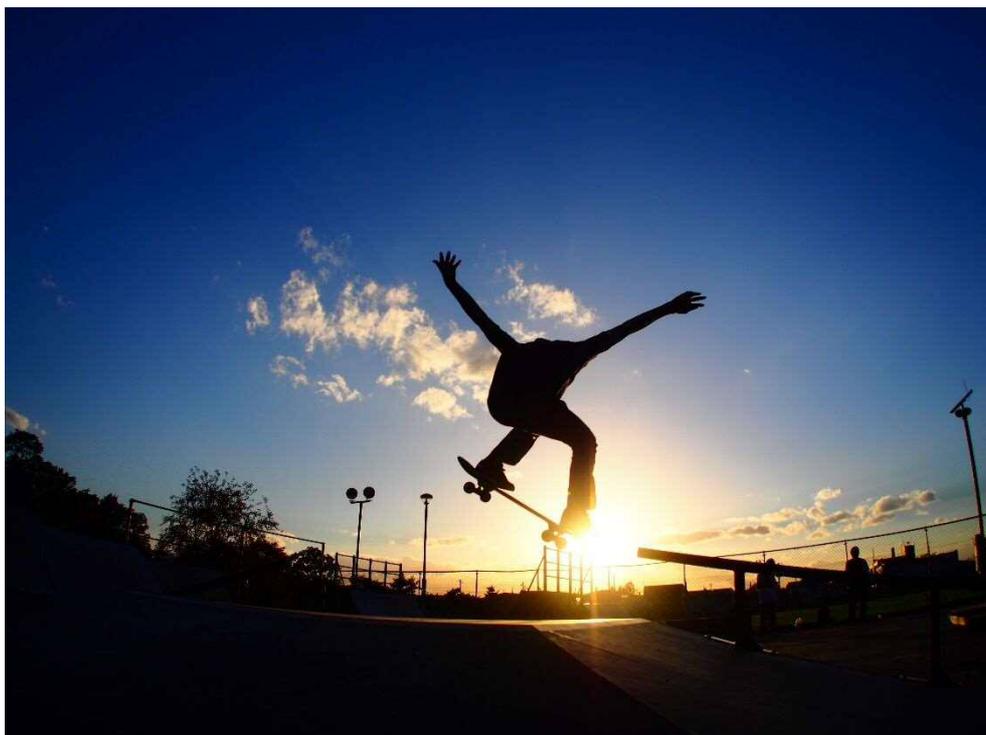
※ユニバーサルデザイン…すべての人が利用できる設計

[今後の施策目標]

- ・ 世代を問わずニーズのある施設の整備、提供を目指す

[具体的施策]

- ・ 需要の高いニュースポーツに対応した施設改修の検討
- ・ スポーツ施設案内マップの作成
- ・ 近隣市町との連携を図りスポーツ施設情報の提供
- ・ ユニバーサルデザインに配慮した改修の実施



③ 学校体育施設の活用

小中学校での利用がない体育施設の空き時間を、町内各種団体が有効利用できるようにしているものです。主な利用団体は各種スポーツ少年団、任意のスポーツ団体等様々な団体が利用できるよう開放しているものです。(資料8参照)

≪資料8≫町内学校体育施設利用状況

高 畠 小 学 校	ほぼ毎日スポ少にて利用
二 井 宿 小 学 校	週2回スポ少で利用 春・秋に消防団で利用
屋 代 小 学 校	スポ少でほぼ毎日利用 公民館事業で時々利用
亀 岡 小 学 校	月曜以外ほぼ毎日スポ少で利用 PTA事業での利用もあり
和 田 小 学 校	令和3年度まではスポ少で利用あり
糠 野 目 小 学 校	ほぼ毎日スポ少で利用 高中ソフトテニスも利用あり
高 畠 中 学 校	小体育館を週5日スポ少(卓球)で利用 大体育館を週2回育成会(バトミントン)で利用 グラウンドを日曜の午後にスポ少で利用(サッカー) 陸上競技場を週1回スポ少で利用(陸上) 一般利用なし

[今後の施策目標]

- ・ 学校体育施設開放の情報提供
- ・ 学校体育施設の有効活用

[具体的施策]

- ・ 学校体育施設の設備の助言や支援
- ・ 学校体育施設の利用者による環境整備活動への支援

第4章 計画の推進体制・進捗管理

1 計画の推進体制

本計画の推進にあたっては、スポーツ施策が多様化していることから、項目ごとに関係各課、各スポーツ団体等との協力体制を整え施策を推進します。

基本目標1「スポーツでかがやくひとづくり」

1-1 ライフステージに合わせたスポーツ実施機会の充実

項目	実施主体
① 幼児期	福祉こども課、スポーツ協会、社会教育課
② 青少年期	教育総務課、スポーツ協会、社会教育課
③ 青・壮年期	健康長寿課、スポーツ協会、 スポーツ推進委員協議会、社会教育課
④ 高齢期	健康長寿課、社会福祉協議会、スポーツ協会、 社会教育課

1-2 スポーツ競技力・運動習慣のレベルアップ

項目	実施主体
① 指導者の育成	スポーツ協会、スポーツ推進委員協議会、 社会教育課
② スポ少、部活動の充実	スポーツ協会、教育総務課、社会教育課

1-3 健康のためのスポーツの推進

項目	実施主体
① 健康寿命の延伸に 繋がるスポーツの推進	健康長寿課、スポーツ協会、社会福祉協議会、 スポーツ推進委員協議会、社会教育課
② 食育の推進	健康長寿課、教育総務課、農林振興課、 福祉こども課、社会教育課

第4章 計画の推進体制・進捗管理

基本目標2「スポーツがあふれるまちづくり」

2-1 スポーツイベントの開催による交流の拡大

項目	実施主体
①交流の拡大	スポーツ協会、スポーツ推進委員協議会、社会教育課
②レベルの高い競技会の開催	スポーツ協会、社会教育課
③多種多様な方法でのスポーツイベントの開催	スポーツ協会、スポーツ推進委員協議会、社会教育課

2-2 スポーツ活動をささえる地域づくり

項目	実施主体
①スポーツ団体の強化、連携、支援	スポーツ協会、社会教育課
②スポーツ推進委員協議会の発展と支援	スポーツ推進委員協議会、社会教育課
③スポーツボランティアの推進	スポーツ協会、社会教育課

2-3 スポーツ施設の整備

項目	実施主体
①スポーツ施設の管理と利用促進	スポーツ協会、社会教育課
②ニーズに沿った施設の整備	スポーツ協会、社会教育課
③学校体育施設の活用	教育総務課、社会教育課

2 計画の進捗管理

計画の着実な推進のため、計画(Plan)、実行(DO)、評価(Check)、改善(Action)のPDCAサイクルを導入し、スポーツ団体等で構成した審議会をもって柔軟かつ着実な進捗管理をおこないます。

また、計画の進捗状況、社会経済情勢、国の政策動向の変化に対応するため、策定5年後をめどに中間見直しもおこないます。



第5章 附属資料

1 高畠町運動・スポーツアンケートの集計結果について

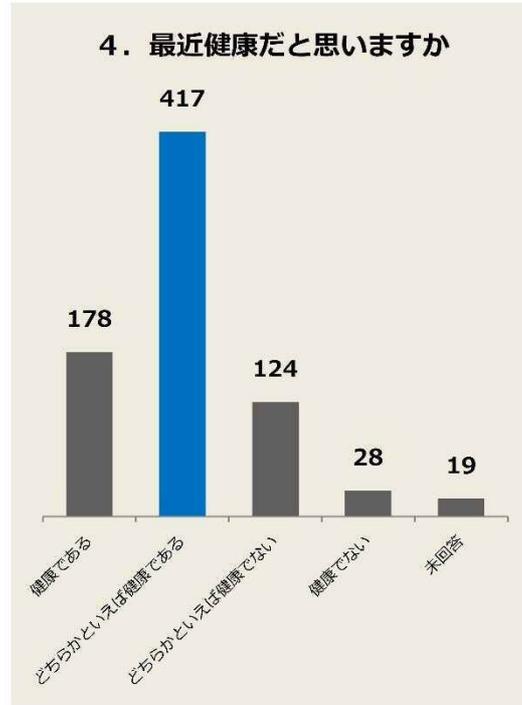
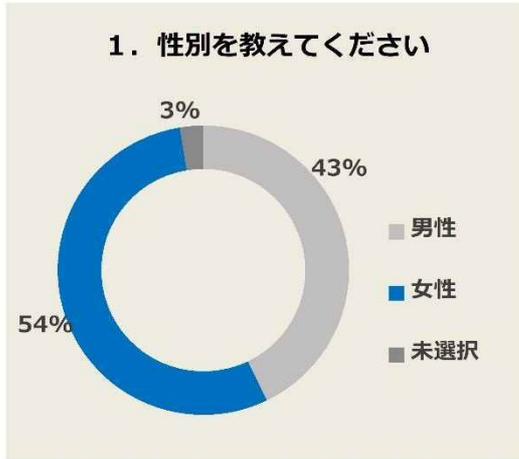
1. 目的 「高畠町スポーツ推進計画」の基礎資料として、スポーツ実施率の調査及び各種施策を策定するうえでのアンケートを実施
2. 内容 別紙アンケート票のとおり
3. 対象 町内に居住する18歳以上の男女から2000人を無作為に抽出

内訳：年代	対象者	回答数
18～19歳	44人	8人
20～29歳	194人	45人
30～39歳	222人	51人
40～49歳	317人	115人
50～59歳	306人	115人
60～69歳	400人	183人
70～79歳	344人	158人
80歳以上	173人	75人
年齢未回答		16人
計	2000人	766人

4. 日程 令和3年11月～令和3年12月

5. 回収結果 回答者数766人、回収率 38.3%

高畠町運動・スポーツアンケート集計結果



※ 最も多い回答

(棒グラフ 数値単位：人)

高島町運動・スポーツアンケート集計結果



運動不足を感じている方が

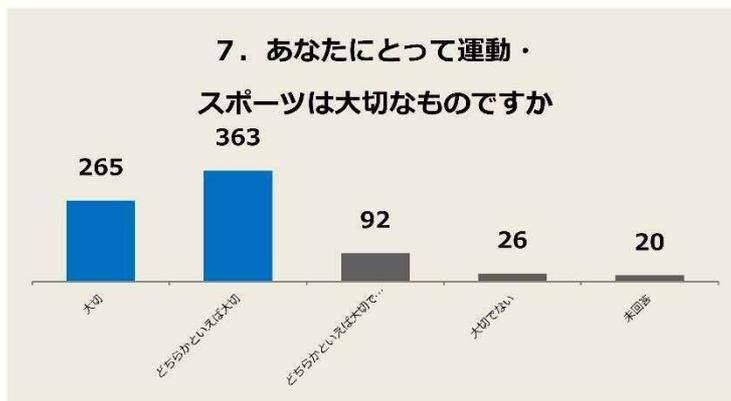
全体の8割近くを占める。

日常的に運動・スポーツの

実施を習慣化できる取組み

が必要なことがわかる。

※ 運動不足を感じている方



スポーツが大切だと感じて

いる方は全体の8割強。

町民の生活の中でスポーツ

が与える影響力が高いこと

がうかがえる結果となった。

※ スポーツが大切だと感じている方



身体を動かすことが好きな

方の割合は7割。

残りの3割の方にスポーツ

の持つ魅力をアピールする

取組が必要と考えられる。

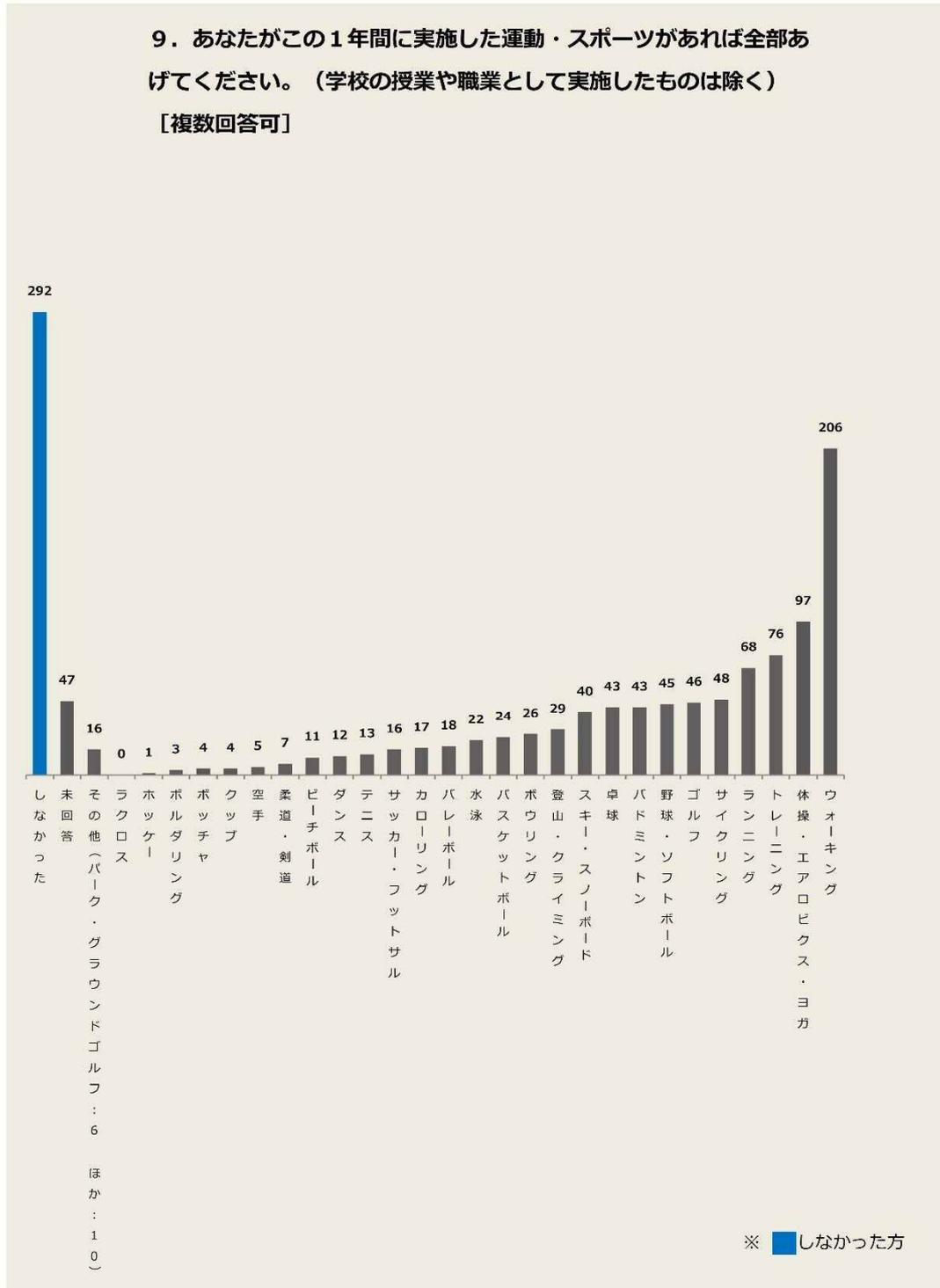
※ 体を動かすことが好きな方

(棒グラフ 数値単位：人)

高畠町運動・スポーツアンケート集計結果

9. あなたがこの1年間に実施した運動・スポーツがあれば全部あげてください。（学校の授業や職業として実施したものは除く）

【複数回答可】

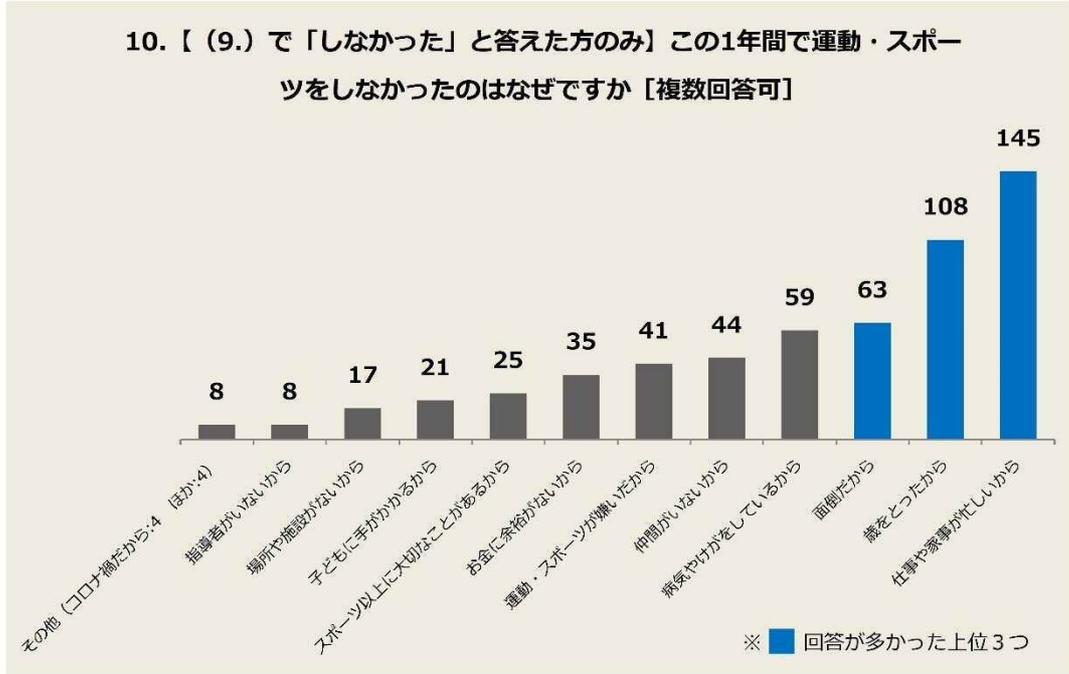


ウオーキングや体操等、特別な道具を必要としない気軽に行えるスポーツが親しまれている。

ポッチャやクッブなどのニュースポーツを実施している方も少数ながら見られた。

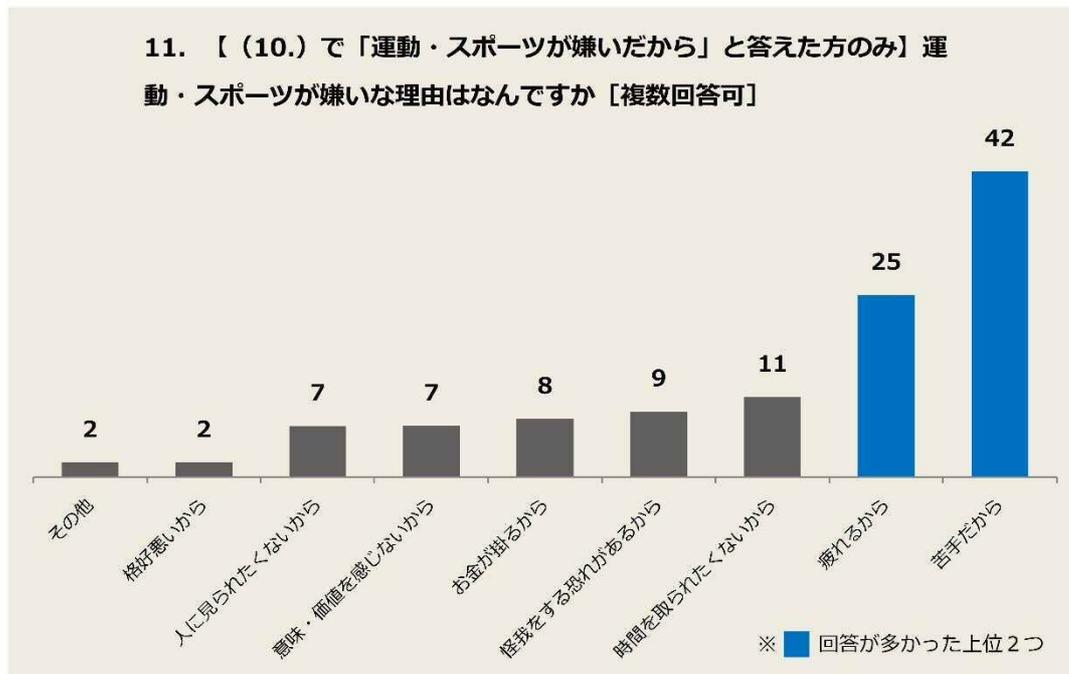
(棒グラフ 数値単位：人)

高島町運動・スポーツアンケート集計結果



仕事や家事が忙しい方が一番多く、次いで歳をとったから、面倒だからと続く。

忙しい日常でも、気軽に実施できるスポーツの推進がスポーツの実施率向上に繋がると考えられる。

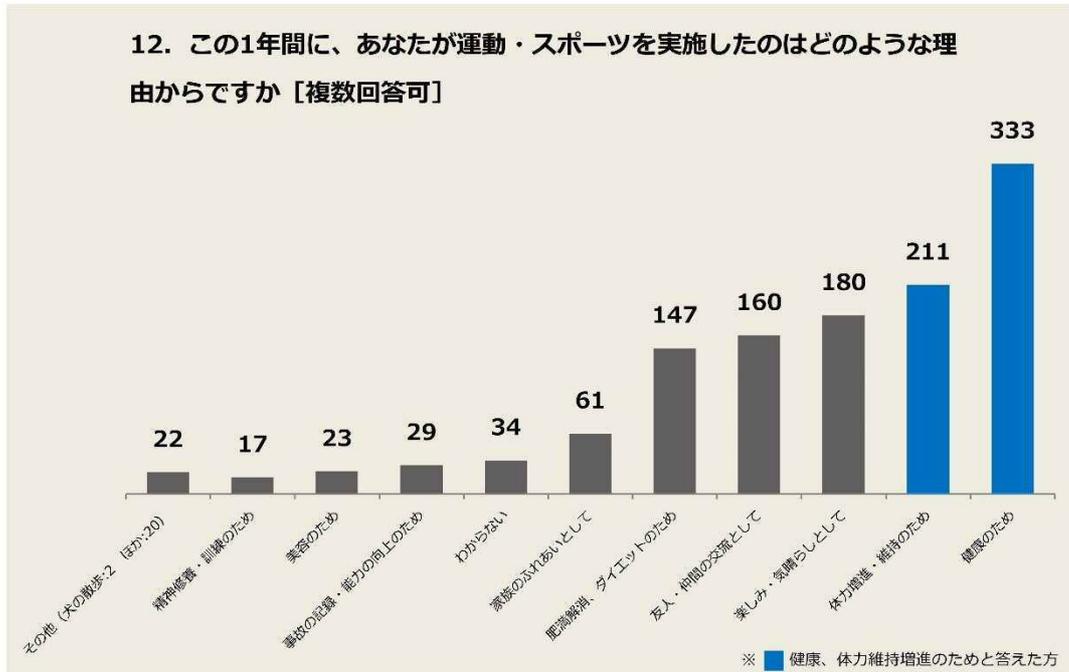


苦手だから、疲れるからという意見が半数以上を占めた。

スポーツに苦手意識がある方も楽しめる、ニュースポーツの推進で改善の可能性があると思われる。

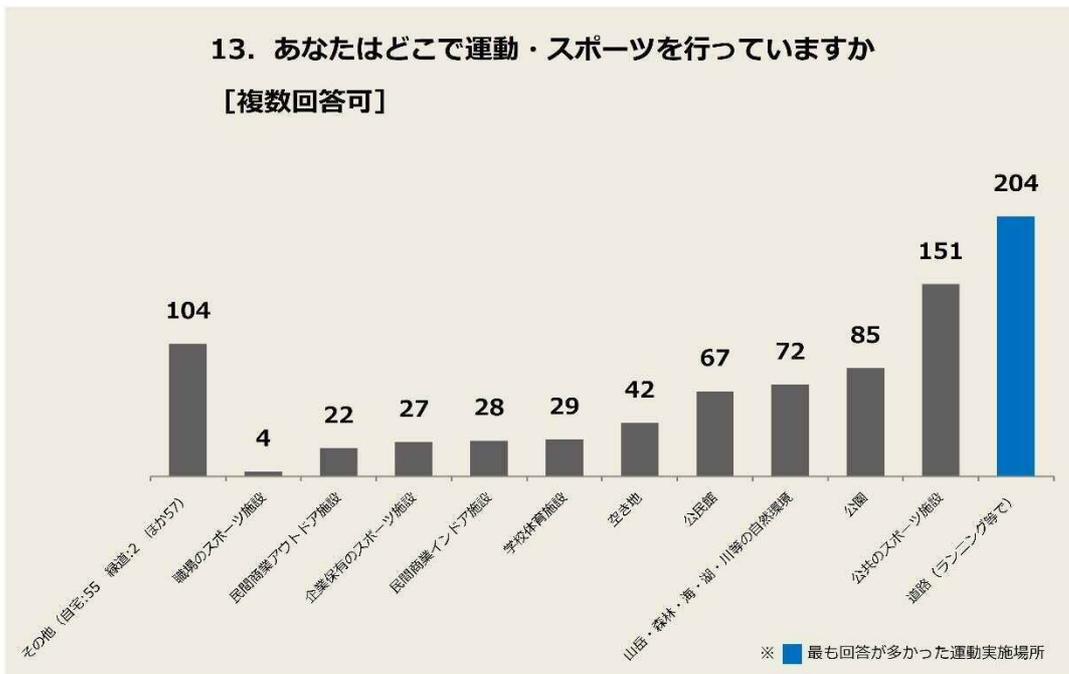
(棒グラフ 数値単位：人)

高島町運動・スポーツアンケート集計結果



健康のため、体力維持・増進のためが多く町民の健康意識の高さが見える。

「健康のためのスポーツ」にニーズがあるためそれに沿った事業展開が必要と考えられる。

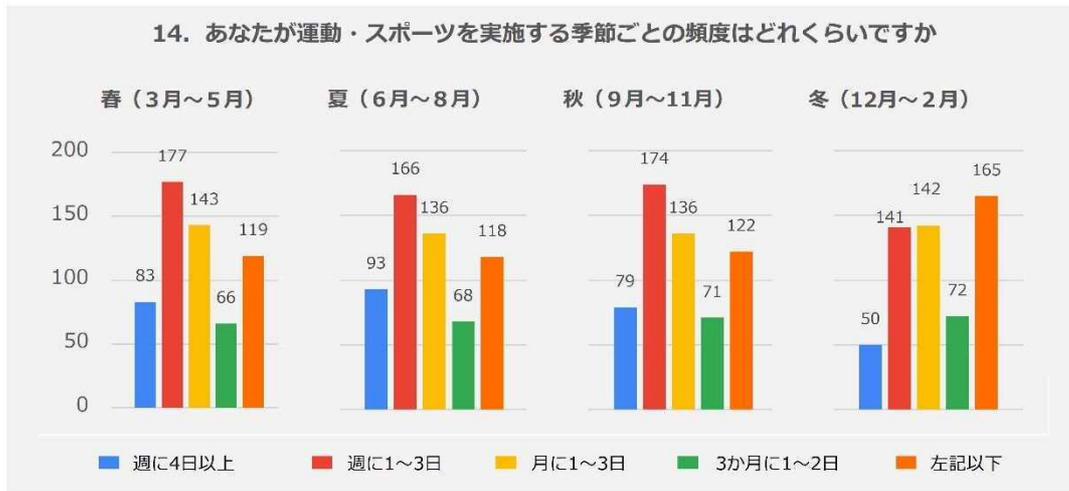


ウォーキング等の実施が多いことと関係しており、道路等でのスポーツ実施が多かった。

次いで、公共のスポーツ施設が多いことから、施設の有効活用等について検討の余地あり。

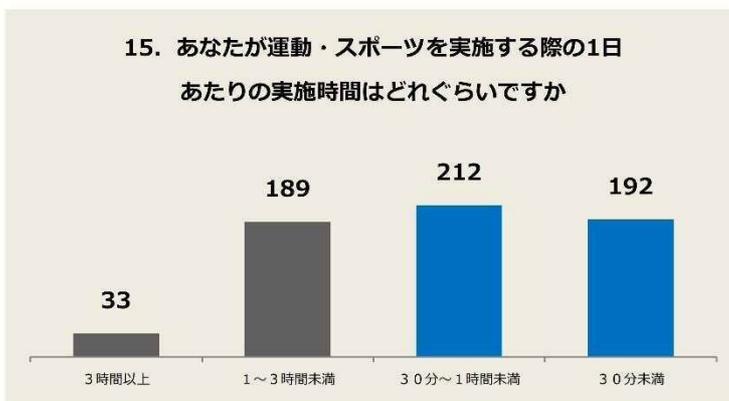
(棒グラフ 数値単位：人)

高畠町運動・スポーツアンケート集計結果



春~秋にかけてはほぼ同じような結果で「週に1~3日」が一番多かった。

冬期間については積雪の影響もあり、3か月に1~2日以下の実施が多くなった。



1日当たりの運動時間は

1時間以内が半数を超えて

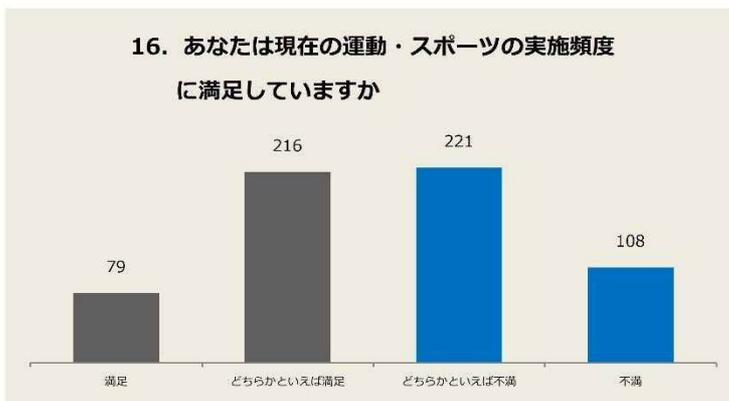
おり、1時間以上実施して

いる人の2倍。ウォーキング等

の比較的軽度なスポーツの実施

が予想される。

※ 回答が多かった上位2つ



満足している人が48%、

不満な人が52%と若干後者

が上回った。運動不足を感じ

ている方が多かったこと

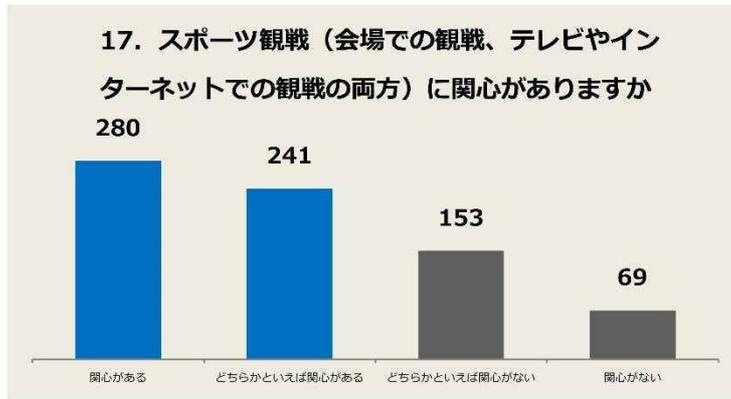
と関連がみられ、実施頻度

増加に繋がる取り組み要。

※ 不満と感じている方

(棒グラフ 数値単位：人)

高畠町運動・スポーツアンケート集計結果



70%が関心があると回答。

※ 関心がある方



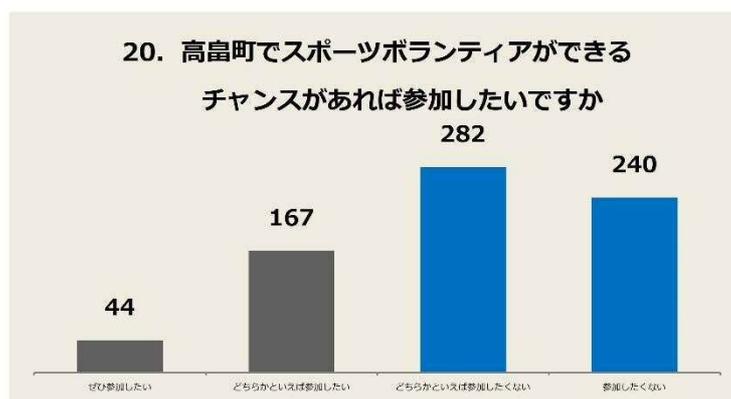
60%がスポーツ観戦に行きたいと回答。関心度と比例しており、プロスポーツの実施誘致等のニーズがあることがわかる。

※ 観戦に行きたい方



7割近くの方がスポーツボランティアに関心がないことがわかる。

※ 関心がない方



スポーツボランティアの関心度に比例している。

※ 参加したくないと答えた方

(棒グラフ 数値単位：人)

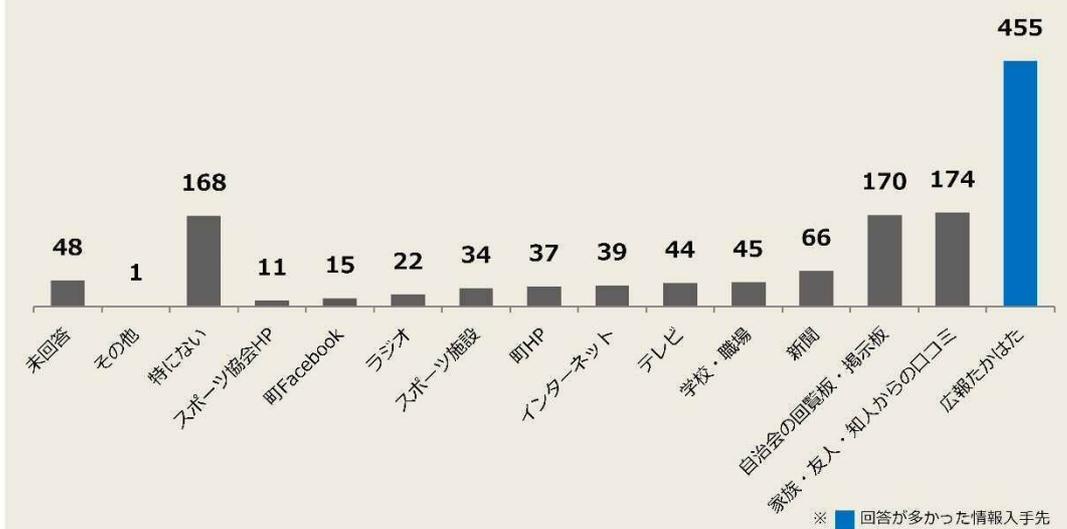
高畠町運動・スポーツアンケート集計結果

21. スポーツボランティア以外にスポーツを「ささえる」活動を行っていただければ教えてください

寄付
スポ少の育成母集団の活動など
部活動指導
子どもがスポ少に入っているので送迎や応援でささえています
スポーツ少年団のコーチ
ソフトボール審判
子どもの活動を指導支援する
求められれば教える
100歳体操の担い手
家の中で、身体をうごかしている 手足の運動
スポ少でのボランティア
健康運動サポーター
スキーのジュニアの指導を行っている。町民スキー教室指導
スポーツ公認コーチとして活動や県スポーツ団体の役員として活動している
安全協会で活動
子どもが興味があるスポーツが出来る所に送り迎え
スポーツイベントの運営
子どもの大会の送迎
げんき館での体操
豪土山登山道整備
和太鼓サークル

22. 高畠町内のスポーツに関する情報はどこから入手していますか

[複数回答可]

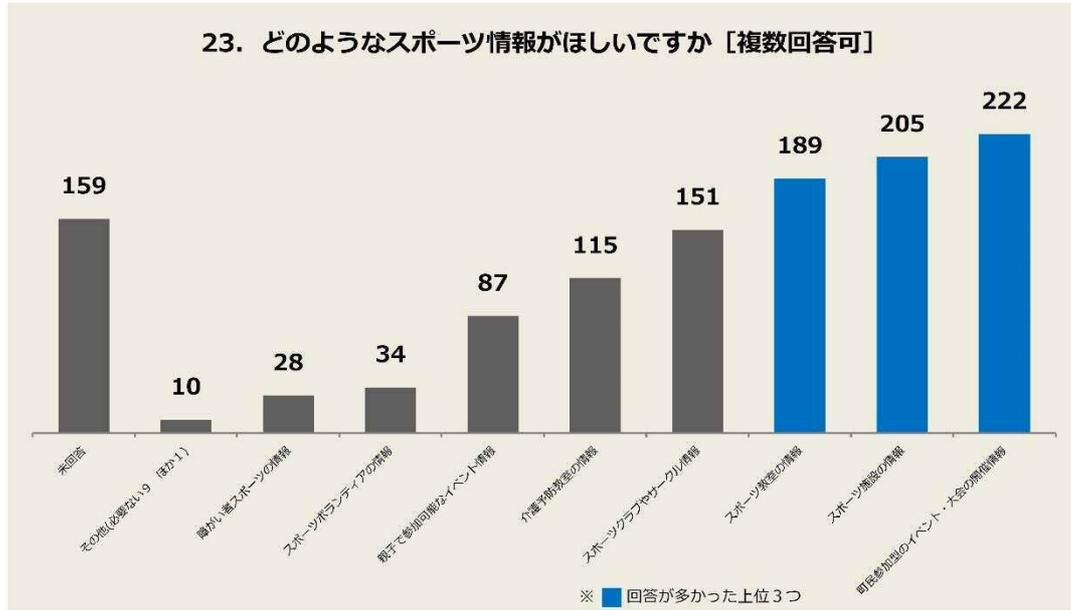


広報たかはたでの情報入手が多いことがわかる。広報たかはたでのスポーツに関する情報の充実

を図る必要がある。また様々な層にアプローチできるFacebook等のSNSの活用も検討の余地あり。

(棒グラフ 数値単位：人)

高畠町運動・スポーツアンケート集計結果



スポーツイベント、施設、教室の情報と多岐にわたる情報が求められている事がわかる。

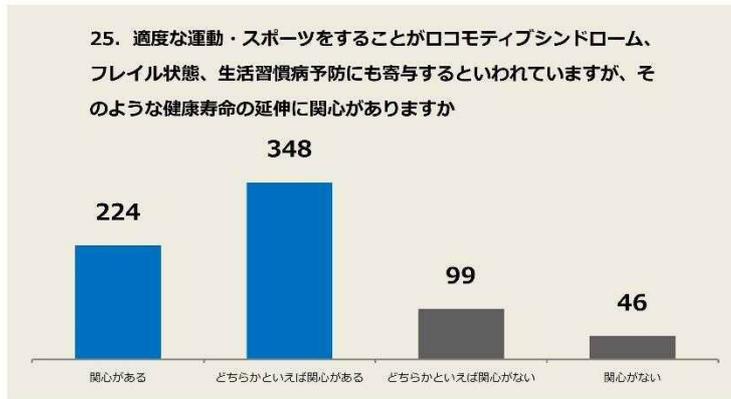
広報たかほはたのスペースには限りがあるため、町HPやスポ協HPを見てもらえるよう工夫要。

24. 高畠町内にほしい、または必要だと思うスポーツ施設があれば教えてください

スポーツジム、トレーニングジム、フィットネスジム	26
体育館（総合型、多機能、ジム併設）	20
屋内運動場・球技場	16
ボルダリング施設、ロッククライミング	12
プール（流れる、ウォーキング）	9
スケートボード	7
カーブス（ヨガ、フィットネス）	7
野球場（人工芝、ナイター設備）	6
サイクリングコース（一般、MTB, BMX）	6
ウォーキング施設（屋内、屋外、公園）	5
ROUND 1	5
ゴルフ場（グラウンドゴルフ、パークゴルフ）	5
南陽市民体育館のような公園併設の施設	4
子ども体育館（遊具設備、広場、体験型）	4
アスレチック場	3
屋内テニスコート	3
スキー場	2
プロの競技が可能な施設（体育館、野球場、サッカー場等）	2

（棒グラフ 数値単位：人）

高畠町運動・スポーツアンケート集計結果



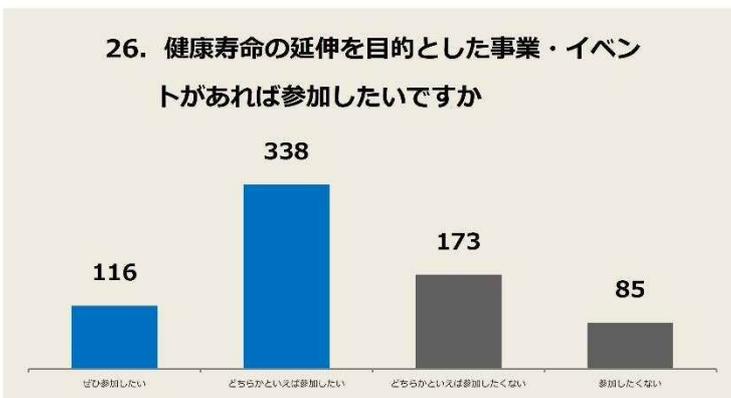
12. スポーツ実施の理由の

結果からもわかるように、

「健康のためのスポーツ」

に関心があることがわかる。

※ 関心がある方



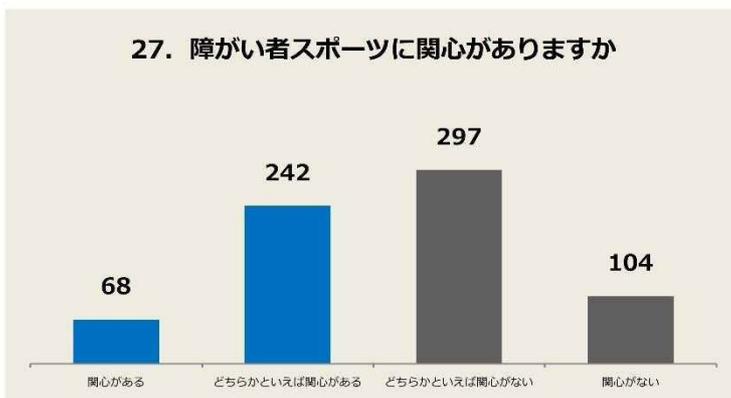
約6割の方が参加したいと

回答。

「健康のためのスポーツ」

の推進が必要と考えられる。

※ 参加したいと答えた方



43%の方が関心があると

回答。東京オリパラの影響

があると思われる。

※ 関心がある方



実際に参加したいと回答

した方は31%と少なかった。

身近に触れる機会が少ない

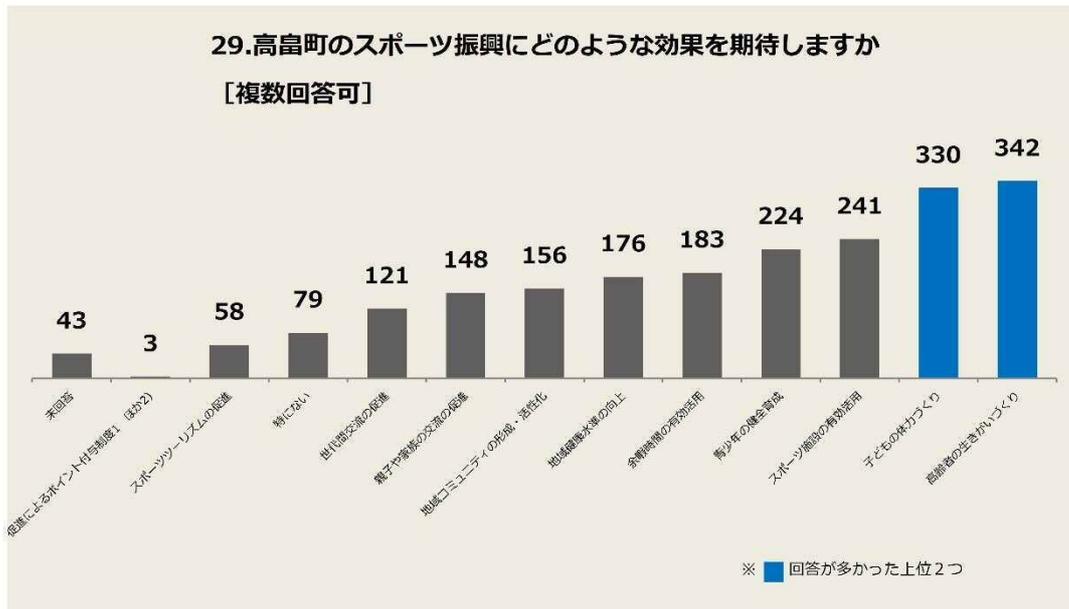
ことが要因と考えられる。

機会創出を視野に入れる。

※ 参加したいと答えた方

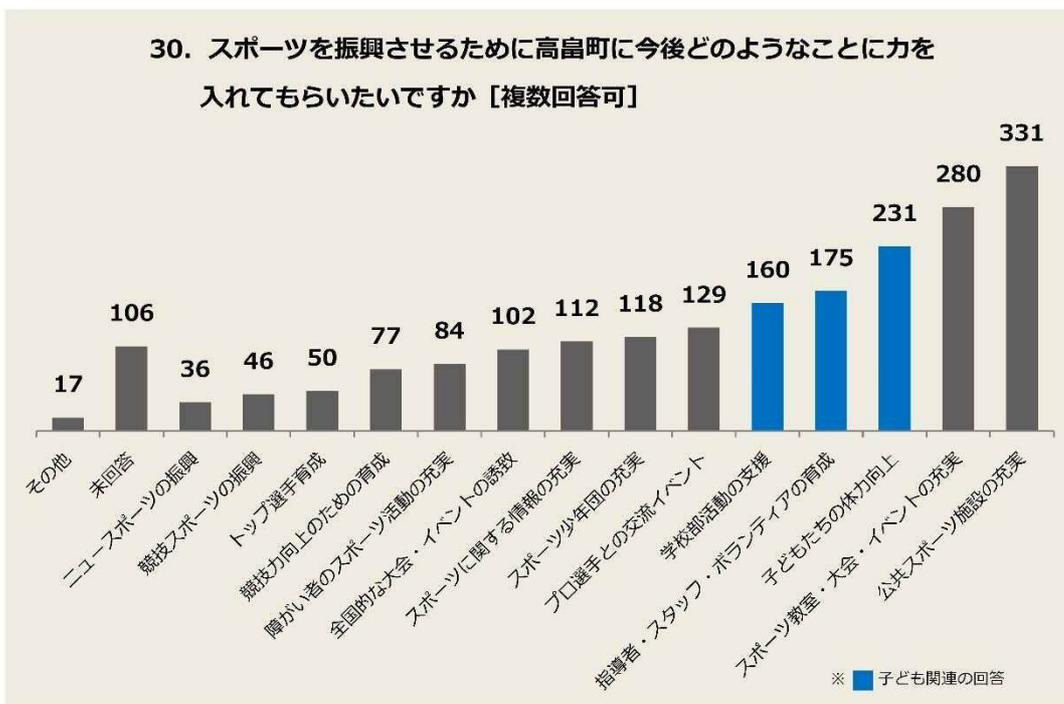
(棒グラフ 数値単位：人)

高畠町運動・スポーツアンケート集計結果



高齢者の生きがいづくりと子どもの体力づくりが多くの回答を得た。幼少期から壮年期にかけて幅広い

年代層にアプローチできる軽スポーツやニュースポーツの推進が重要と考えられる。



子どもたちの体力向上や学校部活動の支援等、子どものスポーツ活動の支援やそれに係る指導者の育

成に力を入れてほしいとの回答が目立つ。地域・学校(部活動)の連携が重要と考える。

高島町運動・スポーツアンケート集計結果

31. 高島町の運動・スポーツに関する意見・ご要望があれば自由にご入力ください

町内の体育館・体育施設利用の効率化
スポ少、中学校部活動の指導者の育成と充実を図ってほしい
都市公園の整備（中央公園運動場）
選手育成（小学校からのハイレベルな指導体制、設備の充実を図る）
ニュースポーツの普及、手軽に参加できるもの（だれでも参加できる、年代別等）
スポーツ教室等の情報発信や一覧表（冊子等）窓口の一本化
ウォーキングコースの整備
冬期間でも利用できる屋内球技場（野球、ソフト、テニス、サッカーなど）の整備
幼少期からスポーツする機会を与えたい
気軽にスポーツができる機会（場所、教室等）、無料で使える設備
子ども向けのスポーツ大会の開催をしてほしい

(棒グラフ 数値単位：人)

高畠町運動・スポーツアンケート

次の①か②のどちらかの方法でご回答ください。

①【1推奨】Googleフォーム（インターネット）で回答（所要時間：～5分）

→URLかQRコードを読み取りインターネットでご回答ください。

●URL… <https://forms.gle/onXj4FBnmtaRigWGA> ●QRコード…



スマートフォンをお持ちの方はこちら

② 回答用紙に記入後郵送で回答（所要時間：10～15分）

→こちらの回答用紙にご記入いただき、同封の返信用封筒に入れポストにご投函下さい。（切手不要）

● 回答者のことについて

1. 性別を教えてください【1つだけマーク】
 男性 女性 未選択

2. 年齢を教えてください【1つだけマーク】
 10代 20代 30代 40代 50代 60代
 70代 80代 90代以上

3. お住いの地区はどちらですか【1つだけマーク】
 高畠地区 二井宿地区 屋代地区 亀岡地区 和田地区 糠野目地区

4. 最近健康だと思いますか【1つだけマーク】
 健康である どちらかといえば健康である どちらかといえば健康でない 健康でない

5. 体力に自信がありますか【1つだけマーク】
 自信がある どちらかといえば自信がある どちらかといえば自信がない 自信がない

6. 普段、運動不足を感じますか【1つだけマーク】
 感じる どちらかといえば感じる どちらかといえば感じない 感じない

7. あなたにとって運動・スポーツは大切なものですか【1つだけマーク】
 大切 どちらかといえば大切 どちらかといえば大切でない 大切でない

8. 運動・スポーツ活動など身体を動かすことが好きですか【1つだけマーク】
 好き どちらかといえば好き どちらかといえば嫌い 嫌い

令和3年11月

高畠町長 寒河江 信

「高畠町スポーツ推進計画」に係るアンケート調査（ご協力をお願いします）

日頃より、高畠町のスポーツ行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
 この度、「高畠町スポーツ推進計画」の策定にあたり、町民の皆様から日頃の運動・スポーツ活動の実態、町のスポーツ振興に対するご意見を伺い、基礎資料を作成することを目的とし「高畠町運動・スポーツアンケート」を実施いたします。このアンケートを実施するにあたっては、**住民基本台帳の中から無作為に抽出した、18歳以上の町民の方2,000人**に文書をお送りしております。ご回答いただいた内容は、今後の計画策定の参考とさせていただきます。回答書個人が特定されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、調査の趣旨をご理解いただきご協力くださいますようお願い申し上げます。

■ ご回答にあたってのお願い…下記をお読みいただきご回答ください。

1. 次の①か②のどちらかの方法でご回答ください。

①【1推奨】Googleフォームで回答（所要時間：～5分）

→URLかQRコードを読み取りインターネットでご回答下さい。

● URL… <https://forms.gle/onXj4FBnmtaRigWGA>

● QRコード…

 【スマートフォンをお持ちの方はこちらから！】
 QRコードを読み取る、自動で回答ページが開き、
 簡単にご回答いただけます。

* Googleフォームでは、回答用紙に書き込むより**短時間で回答**いただけます。

② 別紙回答用紙にご記入後郵送で回答（所要時間：10～15分）

→ 別紙回答用紙にご記入いただき、同封した返信用封筒に入れポストにご投函下さい。

* 切手は不要です。

2. 次の注意事項をご確認ください。

- ① 設問ごとにノをつけ数が多い場合は注意書きに従って回答ください。
- ② 「その他」をお選びいただいた際は、その後の（ ）内に具体的な内容を記入下さい。
- ③ ご回答期限は **令和3年12月10日（金）15時** までといたします。
- ④ ご不明な点等ございましたら下記お問合せ先までご連絡下さい。

お問合せ 高畠町社会教育課スポーツ振興係 TEL:0238-52-2719 FAX:0238-52-5043

高畠町運動・スポーツアンケート

● 運動・スポーツを「する」ことについて

9. あなたがこの1年間に実施した運動・スポーツがあれば全部教えてください(学校の授業や職業として実施したものは除きます) [複数回答可]
- 野球・ソフトボール バレーボール サッカー・フットサル バスケ
- テニス 卓球 バドミントン ビーチボール ゴルフ トレーニング
- カラオケ ボッチャ クラブ 体操・エアロビクス・ヨガ トレーニング
- ランニング ウォーキング スキー・スノーボード 登山・クライミング
- 水泳 サイクリング 柔道・剣道 空手 ボルダリング ダンス
- ラクロス ホッケー しなかった その他

10. 「(9)」で「しなかった」と答えた方のみ」この1年間で運動・スポーツをしなかったのはなぜですか [複数回答可]
- 運動・スポーツが嫌いだから 面倒だから 仕事や家事が忙しいから
- 子どもに手が届かないから お金に余裕がないから 仲間がないから
- 歳をとったから 病气やけがをしているから 場所や施設がないから
- 指導者がいないから スポーツ以上に大切なことがあるから
- その他

11. 「(10)」で「運動・スポーツが嫌いだから」と答えた方のみ」運動・スポーツが嫌いな理由は何ですか [複数回答可]
- 苦手だから 疲れるから 格好悪いから 怪我をする恐れがあるから
- 時間を取られたくないから 人に見られたくないから 意味・価値を感じないから
- お金が掛かるから その他

12. この1年間に、あなたが運動・スポーツを実施したのはどのような理由からですか [複数回答可]
- 健康のため 肥満解消・ダイエットのため 体力増進・維持のため 美容のため
- 精神修養・訓練のため 自己の記録・能力の向上のため 楽しみ・気晴らしとして
- 家族のふれあいとして 友人・仲間の交流として わからない
- その他 ()

13. あなたはどこで運動・スポーツを行っていますか [複数回答可]
- 公共のスポーツ施設 公民館 公園 企業保有のスポーツ施設
- 職場のスポーツ施設 民間商業アウトドア施設 民間商業インドア施設
- 学校体育施設 道路(ランニング等) 山岳・森林・海・湖・川等の自然環境
- 空き地 その他 ()

高畠町運動・スポーツアンケート

14. あなたが運動・スポーツを実施する季節ごとの頻度はどれくらいですか [季節ごとに1つだけマーク]

- 春(3~5月) 週に4日以上 週に1~3日 月に1~3日 3ヶ月に1~2日 左記以下
- 夏(6~8月) 週に4日以上 週に1~3日 月に1~3日 3ヶ月に1~2日 左記以下
- 秋(9~11月) 週に4日以上 週に1~3日 月に1~3日 3ヶ月に1~2日 左記以下
- 冬(12~2月) 週に4日以上 週に1~3日 月に1~3日 3ヶ月に1~2日 左記以下

15. あなたが運動・スポーツを実施する際の1日あたりの実施時間はどれくらいですか [1つだけマーク]
- 3時間以上 1~3時間未満 30分~1時間未満 30分未満

16. あなたは現在の運動・スポーツの実施頻度に満足していますか [1つだけマーク]
- 満足 どちらかといえば満足 どちらかといえば不満 不満

● 運動・スポーツを「みる」ことについて

17. スポーツ観戦(会場の観戦、テレビやインターネットでの観戦の両方)に関心がありますか [1つだけマーク]
- 関心がある どちらかといえば関心がある どちらかといえば関心がない 関心がない

18. 高畠町でスポーツ観戦できるチャンスがあれば行きたいですか [1つだけマーク]
- ぜひ行きたい どちらかといえば行きたい どちらかといえば行きたくない 行きたくない

● 運動・スポーツを「ささえる」ことについて

19. スポーツボランティアに関心がありますか [1つだけマーク]
- 関心がある どちらかといえば関心がある どちらかといえば関心がない 関心がない

20. 高畠町でスポーツボランティアができるチャンスがあれば参加したいですか [1つだけマーク]
- 参加したい どちらかといえば参加したい どちらかといえば参加たくない 参加したくない

21. スポーツボランティア以外にスポーツを「ささえる」活動を行ってほしい教えてください。

高畠町運動・スポーツアンケート

● 高畠町のスポーツ環境について

22. 高畠町内のスポーツに関する情報はどこから入手していますか【複数回答可】
- 広報たかはた 町HP Facebook 本町協会HP 自治会の回覧板・掲示板
 - スポーツ施設 学校・職場 家族・友人・知人からの口コミ イベント テレビ
 - ラジオ 新聞 特にない その他 ()

23. どのようなスポーツ情報がほしいですか【複数回答可】

- 町民参加型のイベント・大会の開催情報 親子で参加可能なイベント情報
- スポーツ教室の情報 スポーツ施設の情報 スポーツクラブやサークル情報
- スポーツボランティアの情報 障がい者スポーツの情報 介護予防教室の情報

24. 高畠町内にほしい、または必要だと思うスポーツ施設があれば教えてください

()

● スポーツと※健康寿命の延伸について

※WHOが提唱した新しい指標で、平均寿命から見たぎりや認知症など介護状態の期間を差し引いた期間。

25. 適度な運動・スポーツをすることが、※ロコモティブシンドロームや※フレイル状態、生活習慣病予防にも寄与するといわれていますが、そのような健康寿命の延伸に関心がありますか【1つだけマーク】
- 関心がある どちらかといえば関心がある どちらかといえば関心がない 関心がない

※ロコモティブシンドローム…運動器の障がいにより、要介護になるリスクの高い状態。

※フレイル状態…健康な状態と要介護状態の中間に位置し身体的機能や認知機能の低下が見られる状態。

26. 健康寿命の延伸を目的とした事業・イベントがあれば参加したいですか【1つだけマーク】

- 参加したい どちらかといえば参加したい どちらかといえば参加したくない 参加したくない

● 障がい者スポーツについて

27. 障がい者スポーツに関心がありますか？【1つだけマーク】

- 関心がある どちらかといえば関心がある どちらかといえば関心がない 関心がない

28. 高畠町で障がい者スポーツを体験できる事業やイベントがあれば参加したいですか【1つだけマーク】

- 参加したい どちらかといえば参加したい どちらかといえば参加したくない 参加したくない

高畠町運動・スポーツアンケート

● 高畠町のスポーツ振興について

29. 高畠町のスポーツ振興にどのような効果を期待しますか【複数回答可】
- 子どもの体力づくり 青少年の健全育成 高齢者の生きがいづくり
 - 親子や家族の交流の促進 スポーツ・リズムの促進 世代間交流の促進
 - スポーツ施設の有効活用 余暇時間の有効活用 地域健康水準の向上
 - 地域コミュニティの形成・活性化 特にない
 - その他 ()

30. スポーツを振興させるために高畠町に今後どのようなことを入れたいですか【複数回答可】

- スポーツ教室・大会・イベントの充実 公共スポーツ施設の充実
- 障がい者のスポーツ活動の充実 スポーツ少年団の充実 プロ選手との交流イベントの充実
- スポーツに関する情報の充実 全国的な大会・イベントの誘致 子どもたちの体力向上
- 指導者・スタッフ・ボランティアの育成 競技力向上のための育成 トレーニング選手育成
- 競技スポーツの振興 ニューススポーツの振興 学校部活動の支援
- その他 ()

31. 高畠町の運動・スポーツに関するご意見・ご要望があれば自由にご記入ください

()

● アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

【高畠町運動・スポーツアンケート】に関するお問い合わせはこちら

高畠町教育委員会 社会教育課 スポーツ振興係（中央公民館内）

TEL：0238-52-2719 FAX：0238-52-5043 MAIL：syakyo@town.takahata.yamagata.jp

第5章 附属資料

2 参考文献・資料

- ・スポーツ基本法（文部科学省）
- ・第3期スポーツ基本計画（文部科学省）
- ・第6次高畠町総合計画
- ・高畠町教育振興基本計画
- ・第3期高畠町障がい者プラン
- ・第2期高畠町食育・地産地消推進計画
- ・第2期高畠町子ども・子育て支援事業計画
- ・高畠町健康増進計画
- ・高畠町個別施設計画
- ・令和3年度東置賜地区児童生徒の発育状況
- ・令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果（スポーツ庁）

3 高畠町スポーツ推進計画策定の経過及び策定委員会名簿

高畠町スポーツ推進計画策定経過

年月日	会議等	内容
令和3年4月1日	スポーツ推進計画策定委員会設置要綱制定	
令和3年10月27日	第1回スポーツ推進計画策定委員会	委嘱式、計画の検討
令和3年11月	高畠町運動・スポーツアンケート発送	対象：町民2000人
令和3年12月14日	第2回スポーツ推進計画策定委員会	アンケート速報と計画の検討
令和4年3月22日	第3回スポーツ推進計画策定委員会	計画案の検討、意見交換
令和4年7月26日	第4回スポーツ推進計画策定委員会	計画素案の確認
令和5年1月31日	第5回スポーツ推進計画策定委員会	計画の再確認
令和5年2月28日	第6回スポーツ推進計画策定委員会	計画の最終確認

第5章 附属資料

令和3年度、4年度スポーツ推進計画策定委員会名簿

	氏名		区分	所属団体
	令和3年度	令和4年度		
1号委員	島津 良平	中川 広幸	スポーツ団体関係者	スポーツ協会 会長
1号委員	早川 美智子		スポーツ団体関係者	スポーツ推進委員協議会 会長
1号委員	中川 広幸	近 雅博	スポーツ団体関係者	スポーツ少年団 本部長 副本部長
2号委員	高橋 新一郎		教育・行政機関関係	社会福祉協議会 常務理事
2号委員	峯 浩明		教育・行政機関関係	小中連合校長会 会長
2号委員	菊地 誠		教育・行政機関関係	教育総務課 課長
3号委員	加藤 守匡		学識経験者	山形県立米沢栄養大学 教授
3号委員	鈴木 淳一		学識経験者	元スポーツ振興室長

令和3年度、4年度スポーツ振興計画策定委員会事務局名簿

氏名		区分	備考
令和3年度	令和4年度		
鈴木 秀則	平 雅昭	事務局	スポーツ協会 専務理事
中川 敦史		事務局	健康長寿課 主任
佐藤 忠博		事務局	社会教育課 課長
小林 貴宏		事務局	社会教育課 課長補佐
皆川 智明		事務局	社会教育課 スポーツ振興係長
川村 練		事務局	社会教育課 スポーツ振興係主事